

SoftBank

Sprint®



Sprint社の 戦略的買収について

2012年10月15日

ソフトバンク株式会社

代表取締役社長

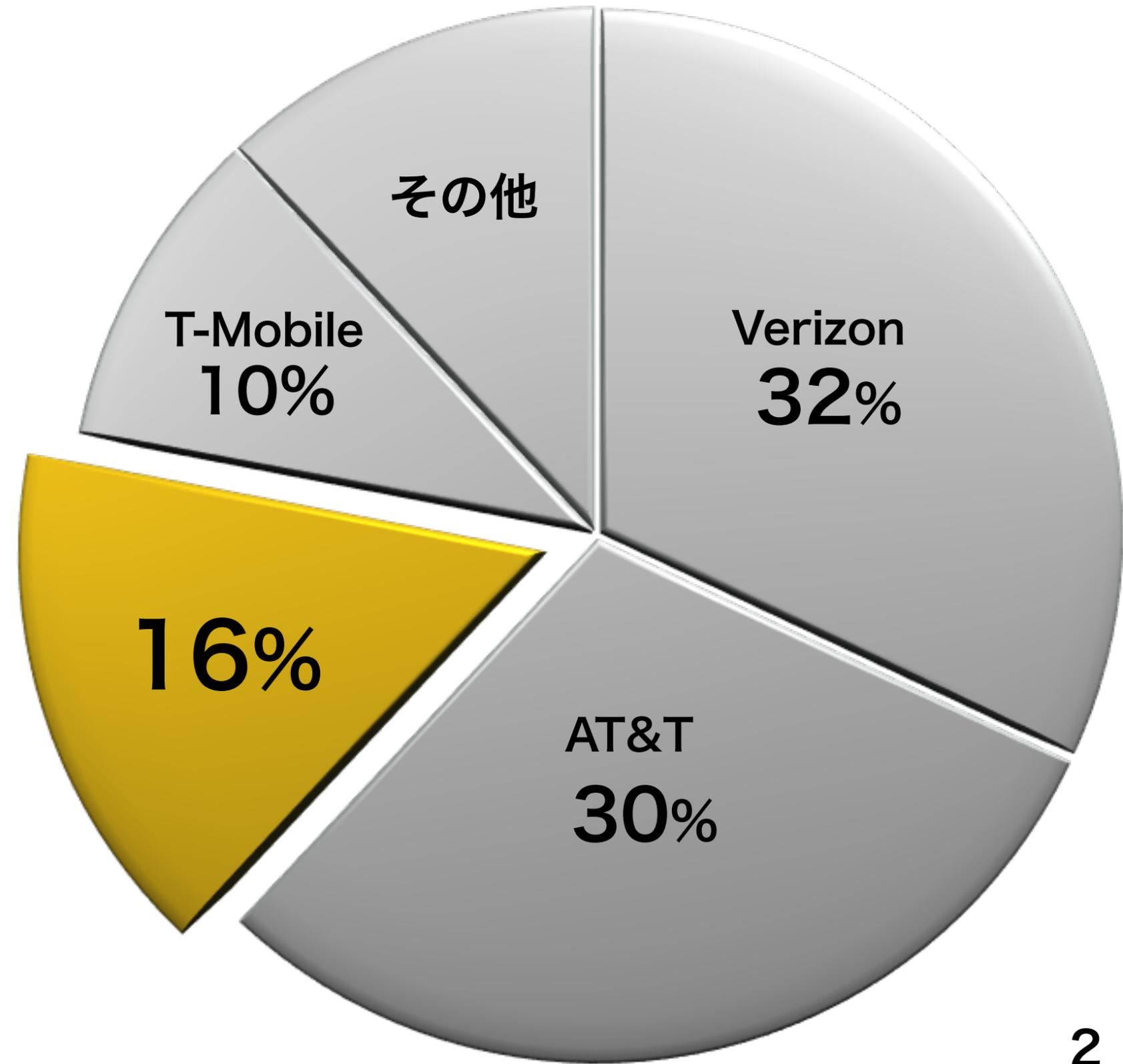
孫 正義

契約数シェア

🇺🇸 米国

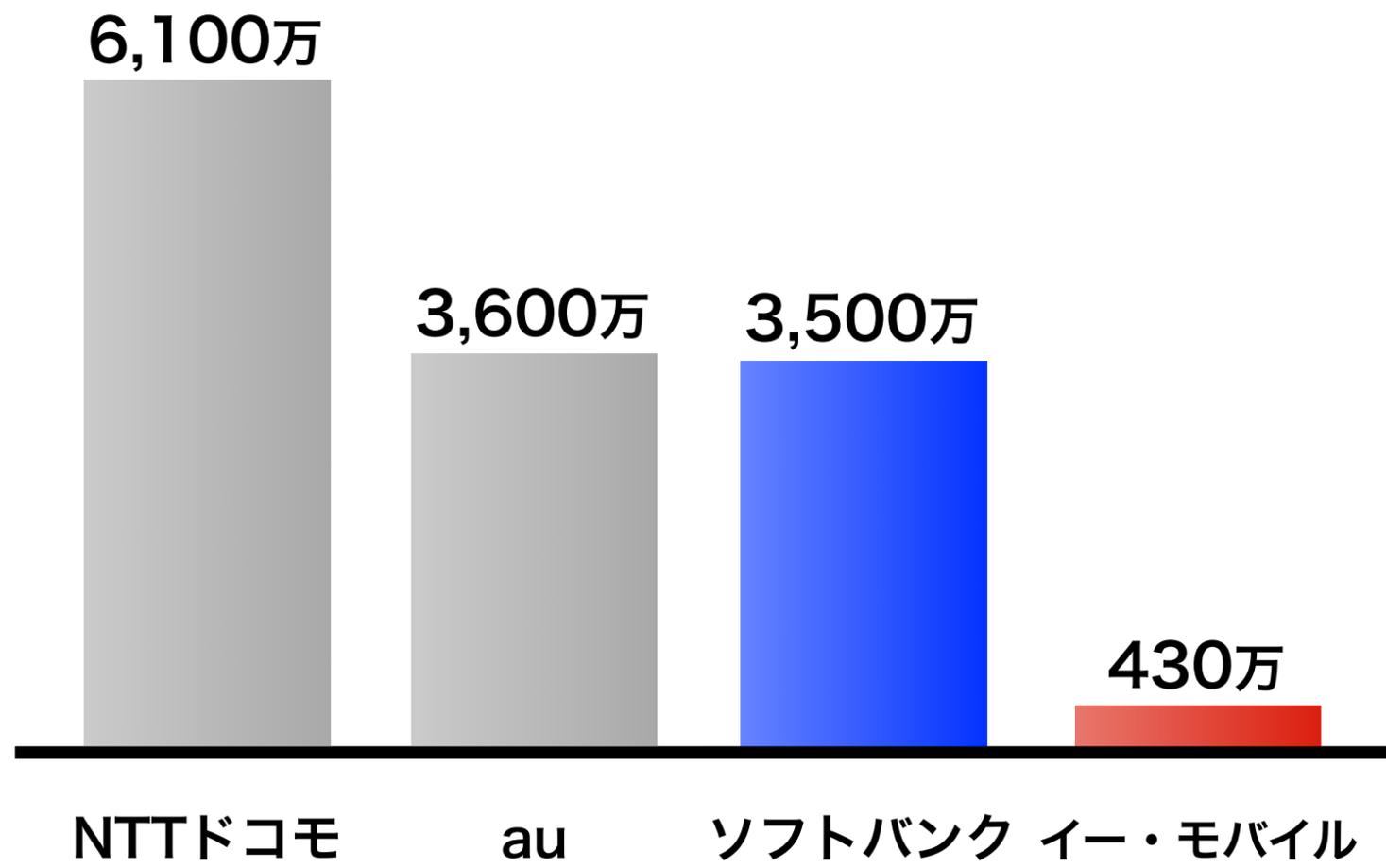
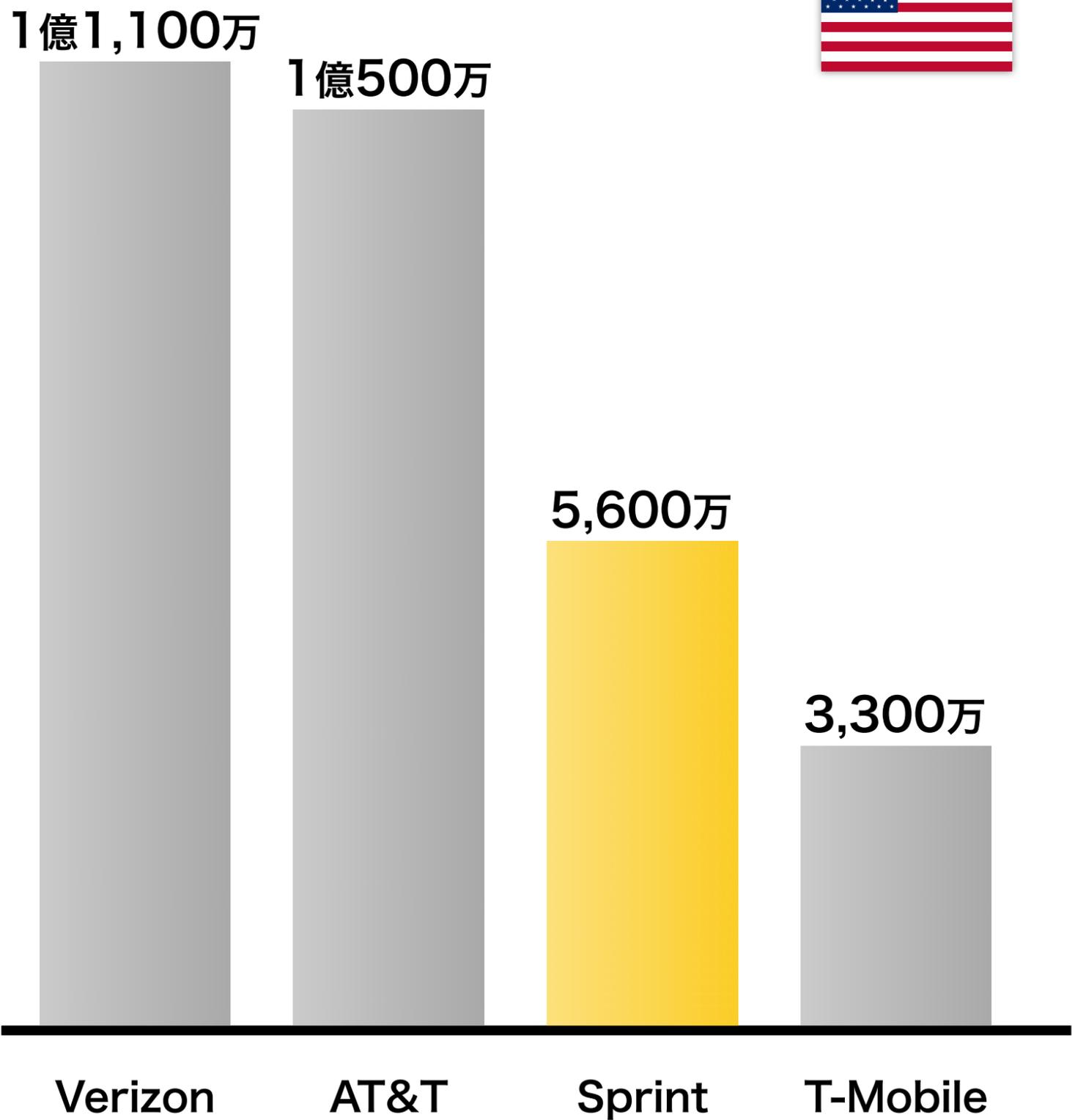
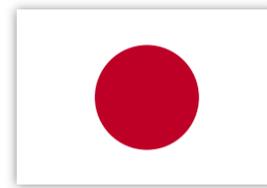
第3位

Sprint®



※出所 : Wireless Intelligence(2012年6月末時点)

累計契約数

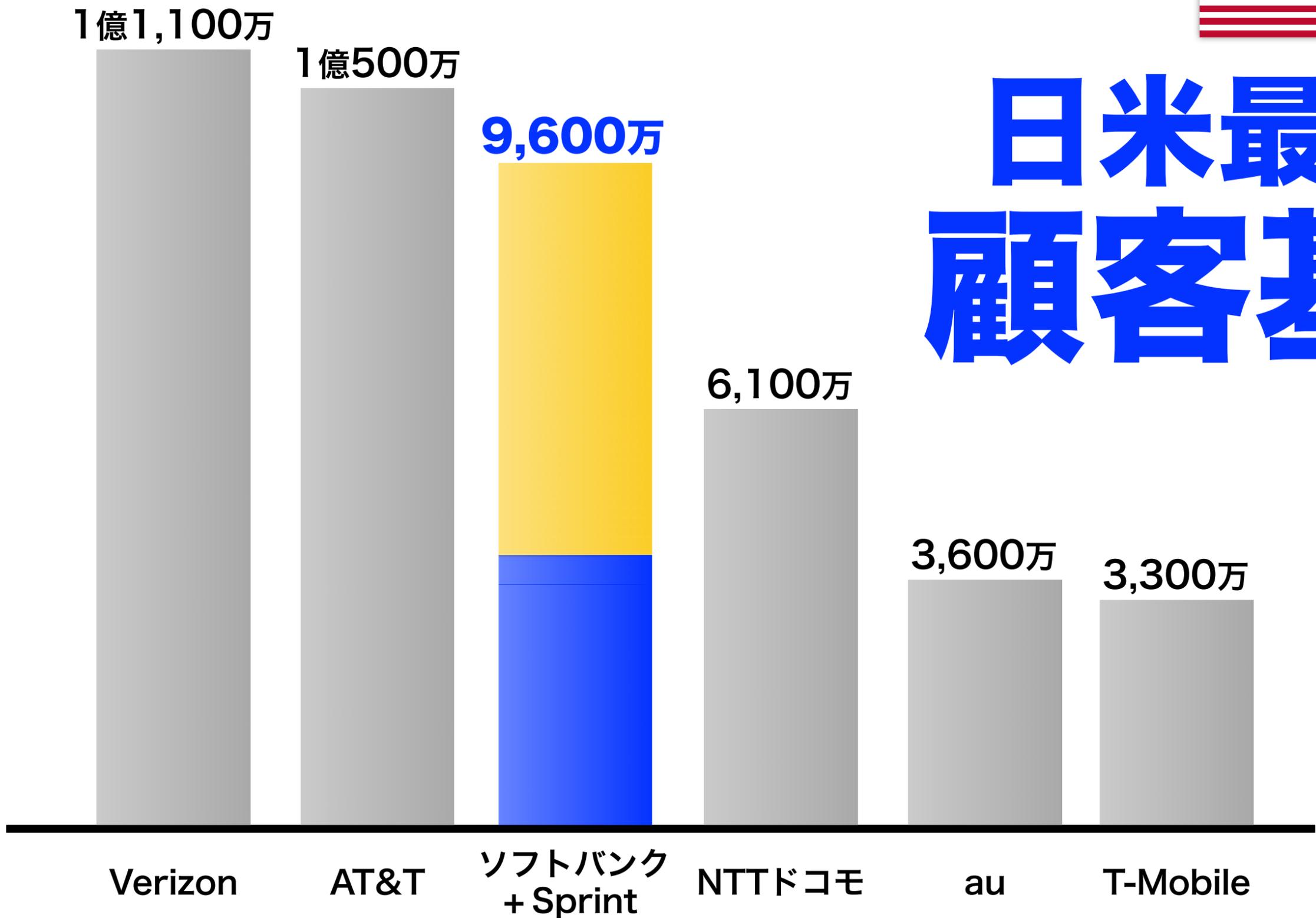


※出所：Wireless Intelligence、TCA及び各社開示資料。米国は6月末、日本は9月末。ソフトバンクはウィルコム含む

累計契約数



日米最大級の顧客基盤へ



※出所：Wireless Intelligence、TCA及び各社開示資料。米国は6月末、日本は9月末。ソフトバンクはウィルコム、イー・アクセス含む

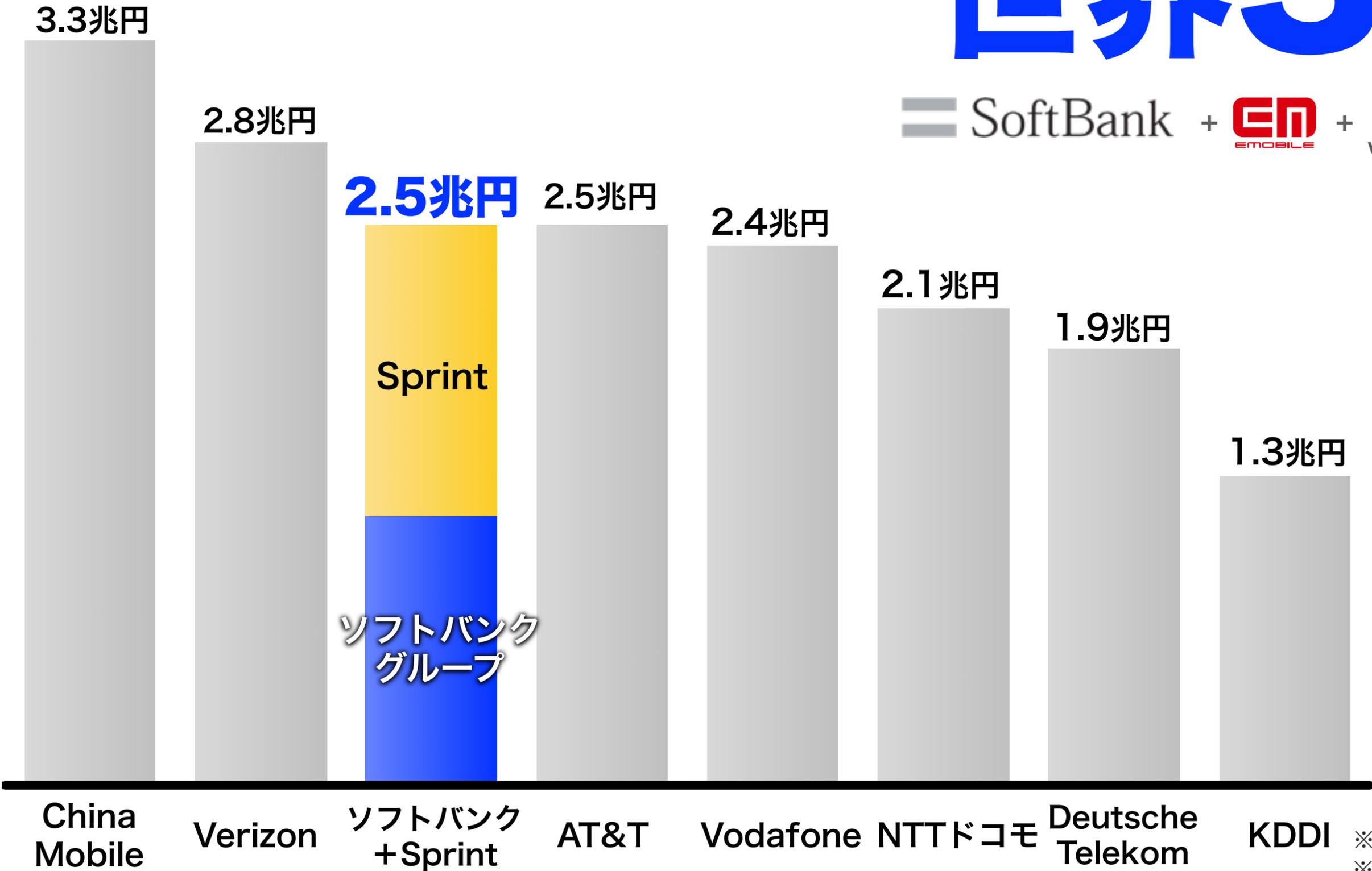
SoftBank

移動体 売上高



世界3位へ

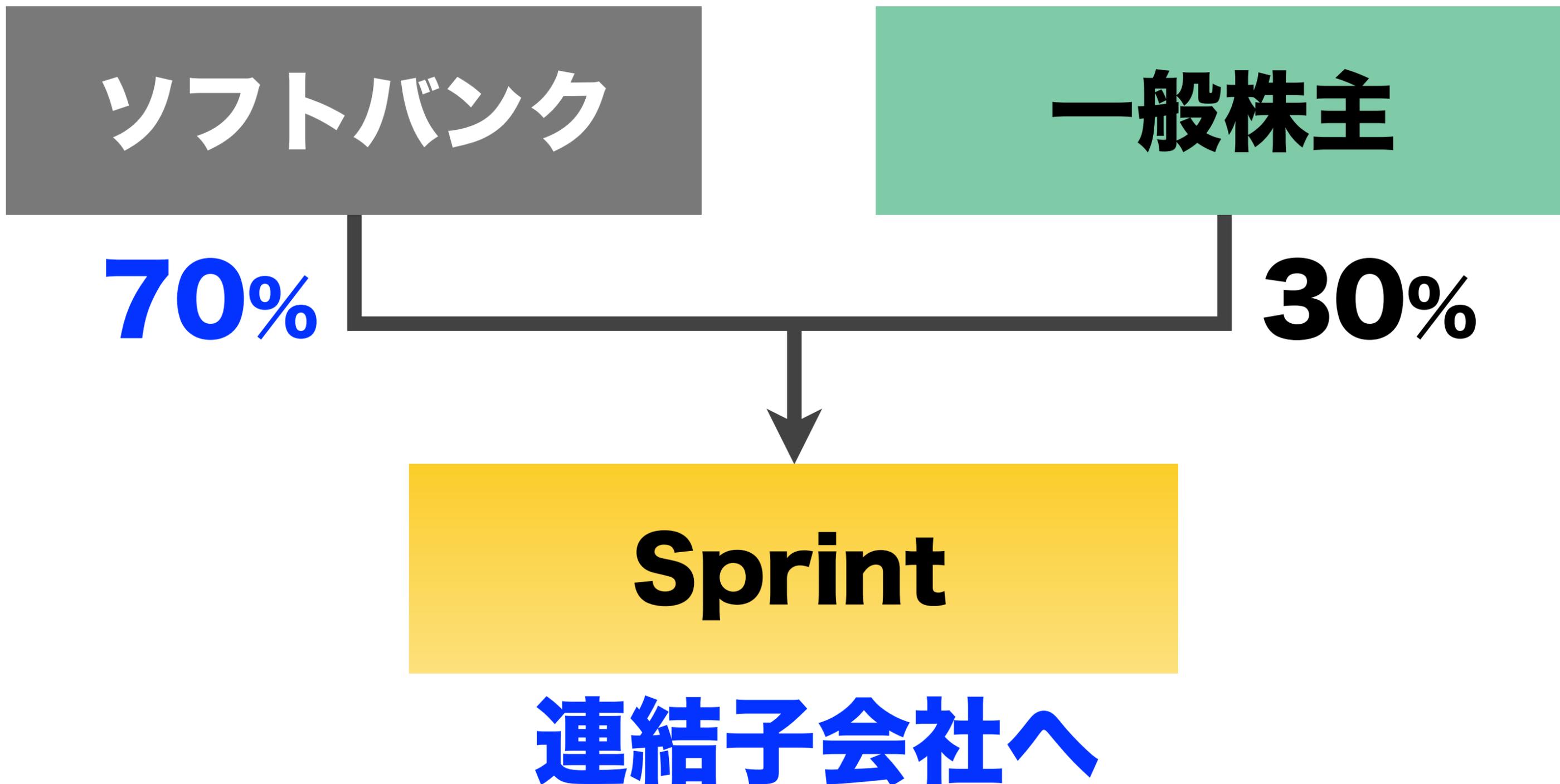
SoftBank + + + Sprint



※2012年1~6月期
※出所：各社開示資料を元に当社作成

本件取引について

資本構成



※完全希薄化ベース

本件取引について

概要

Sprint株式の70%を取得

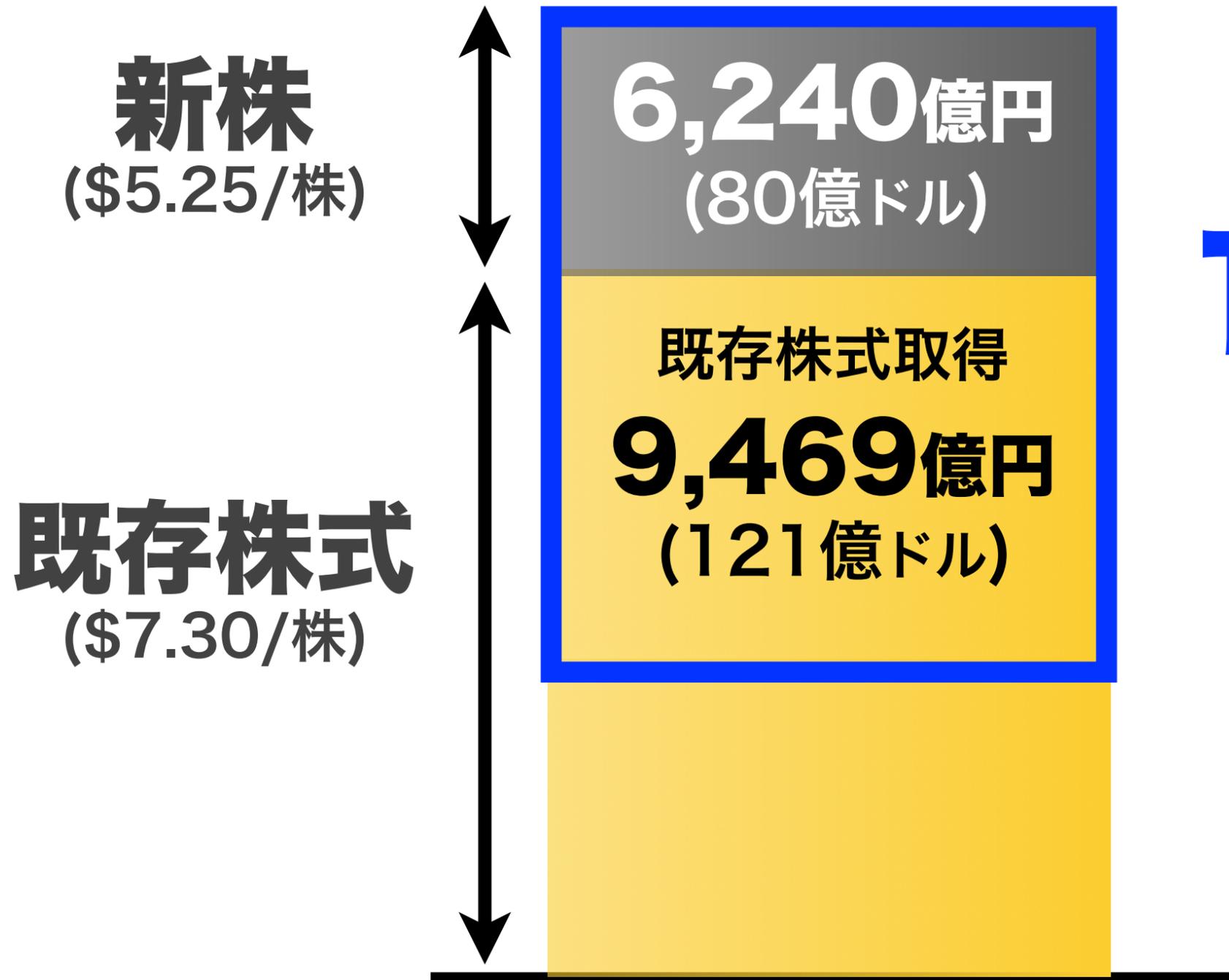
総額

既存株式取得	9,469億円	(121億ドル)
増資引受	6,240億円	(80億ドル)

1兆5,709億円 (201億ドル)

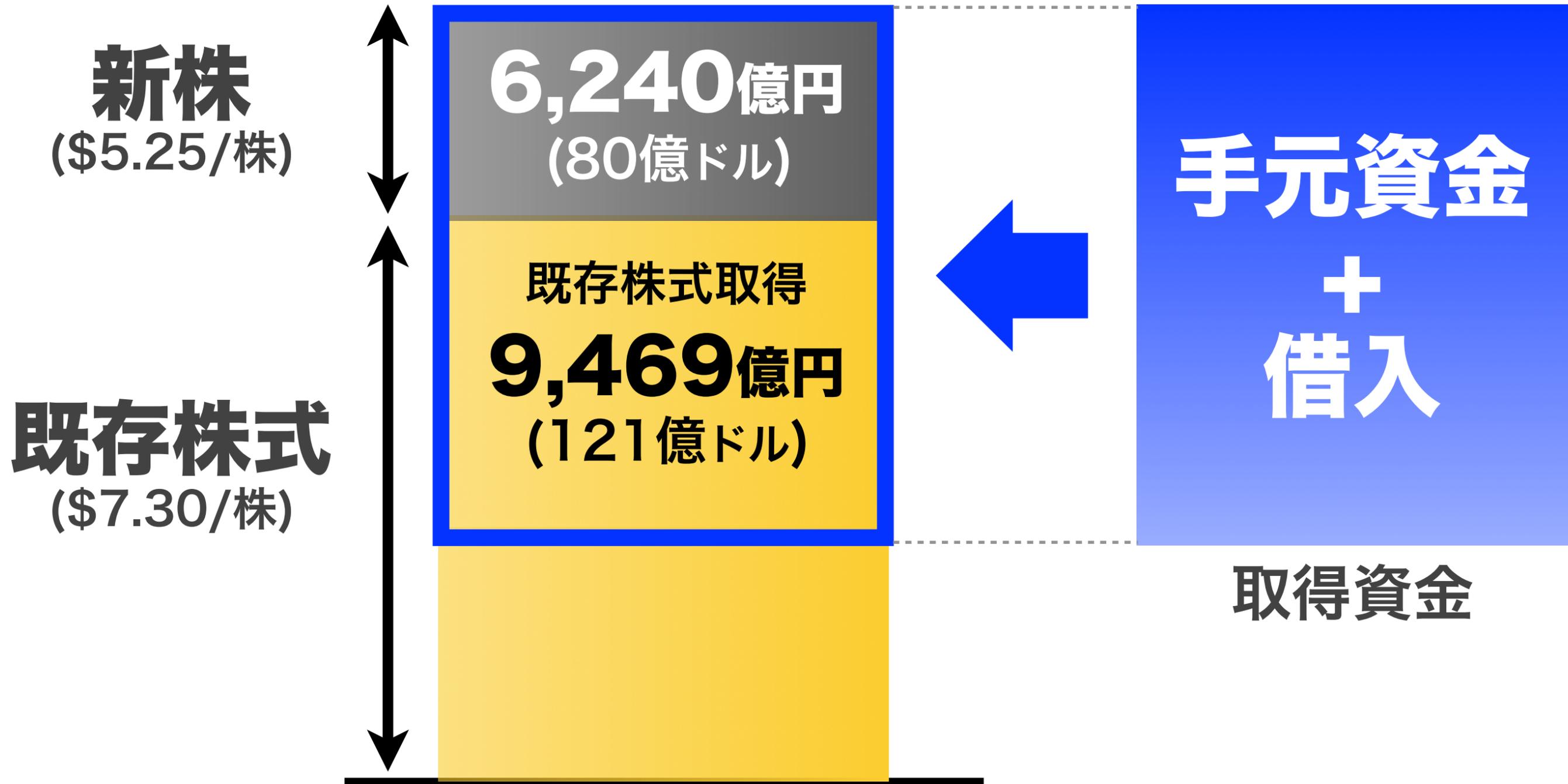
※完全希薄化ベース
(詳細は2012年10月15日付プレスリリースをご参照)

取得株式について



1兆5,709億円
(201億ドル)
(全株式の70%)

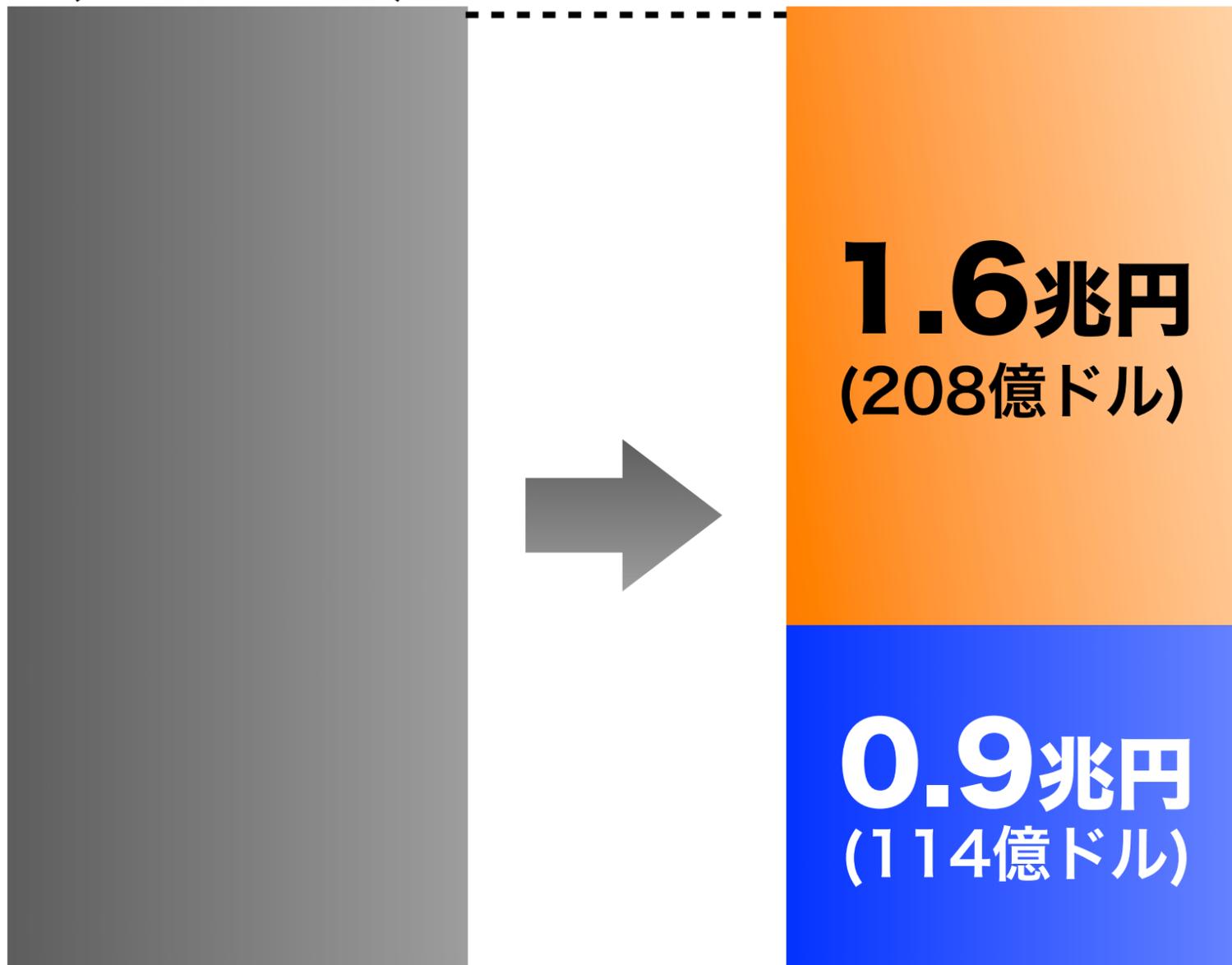
取得株式について



ソフトバンク株主の皆さまへ

- **取得資金調達のための
新株発行・転換社債等の
エクイティファイナンスは一切行わない**
- **配当方針に変更なし**
- **純有利子負債を早期削減**

時価総額
2.5兆円
(321億ドル)



ネット株式価値

ヤフージャパン	6,700億円 (85億ドル)
アリババグループ	8,700億円 (110億ドル)
その他上場企業	800億円 (10億ドル)

通信事業の価値

EBITDA 0.9兆円 × **1倍**

※ソフトバンクの時価総額は2012年10月15日前場終了時点
ソフトバンク通信3事業直近12ヶ月のEBITDA

EBITDAとは

[償却前営業利益]

営業利益

+

(非現金費用)
減価償却
のれん償却

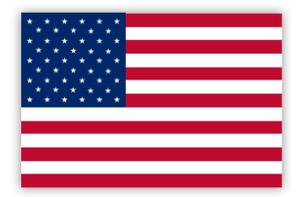
収益・企業価値評価の国際標準

The background of the slide is a close-up, slightly angled view of the American flag, showing the stars and stripes in detail. The flag is waving, creating a sense of movement. The colors are vibrant, with a deep blue for the stars and bright red and white for the stripes.

米国市場について

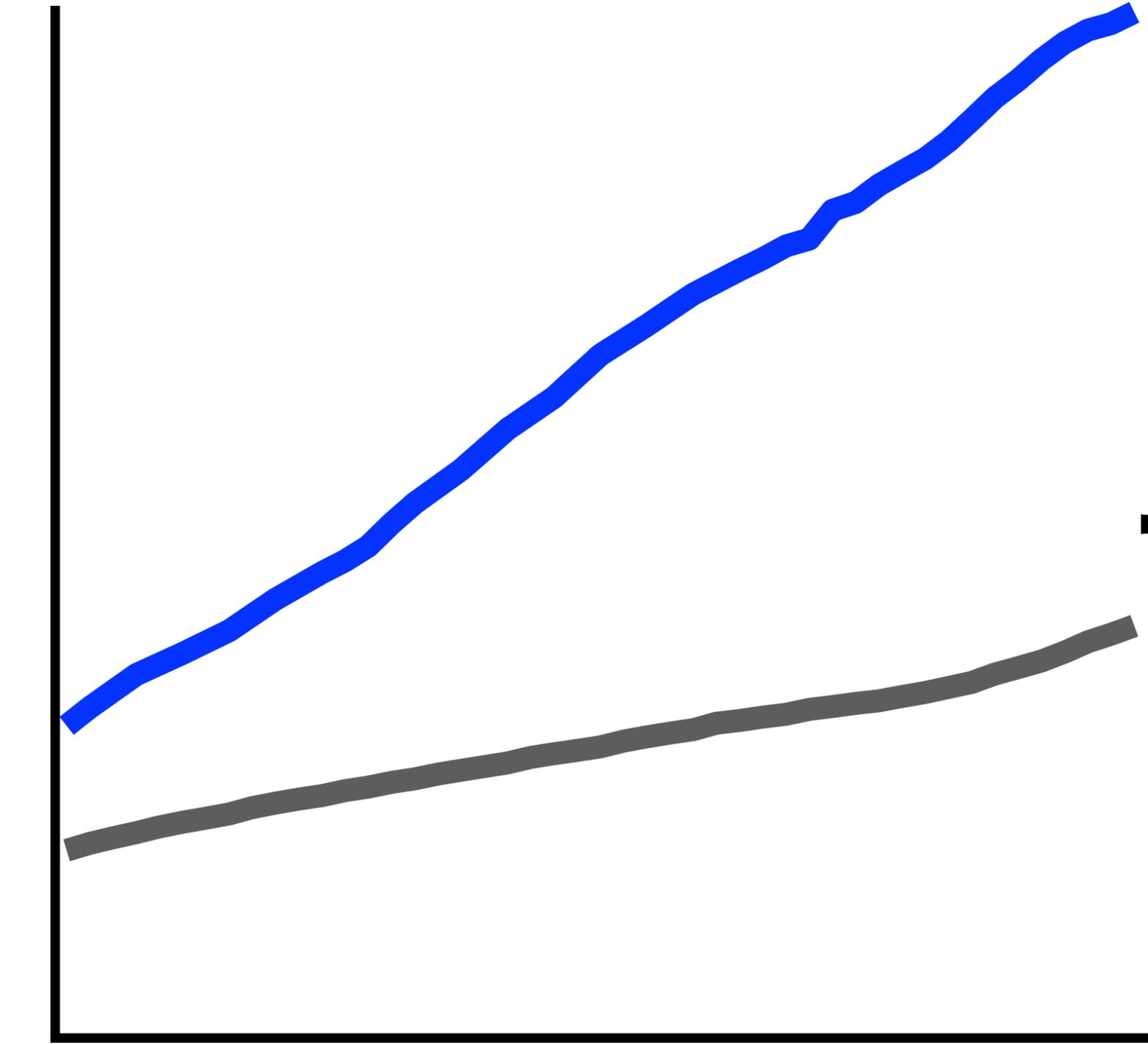
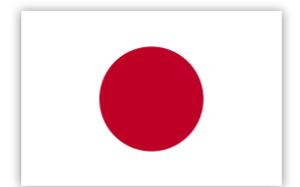
携帯電話契約数

3.5億



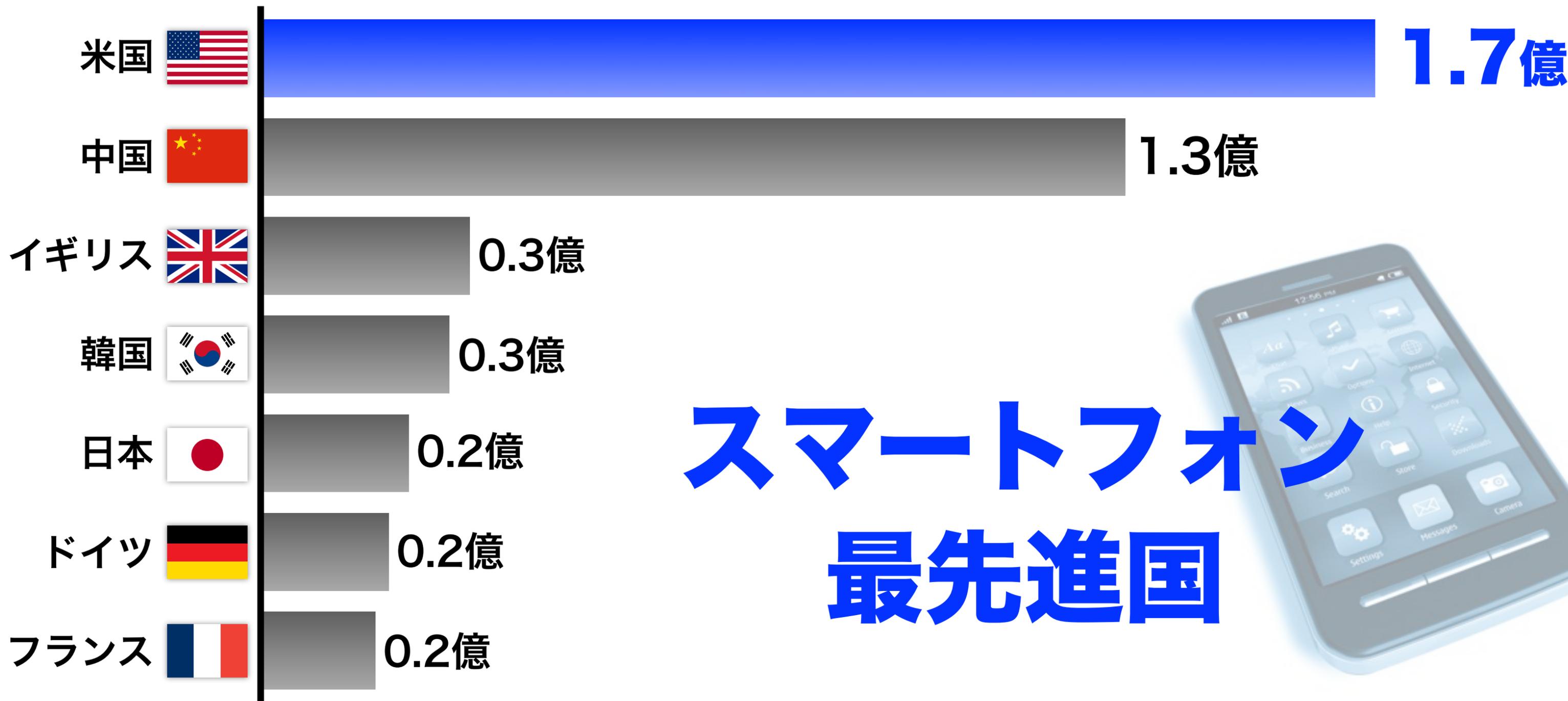
巨大な 成長市場

1.4億



2001 '02 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12

スマートフォン稼働台数

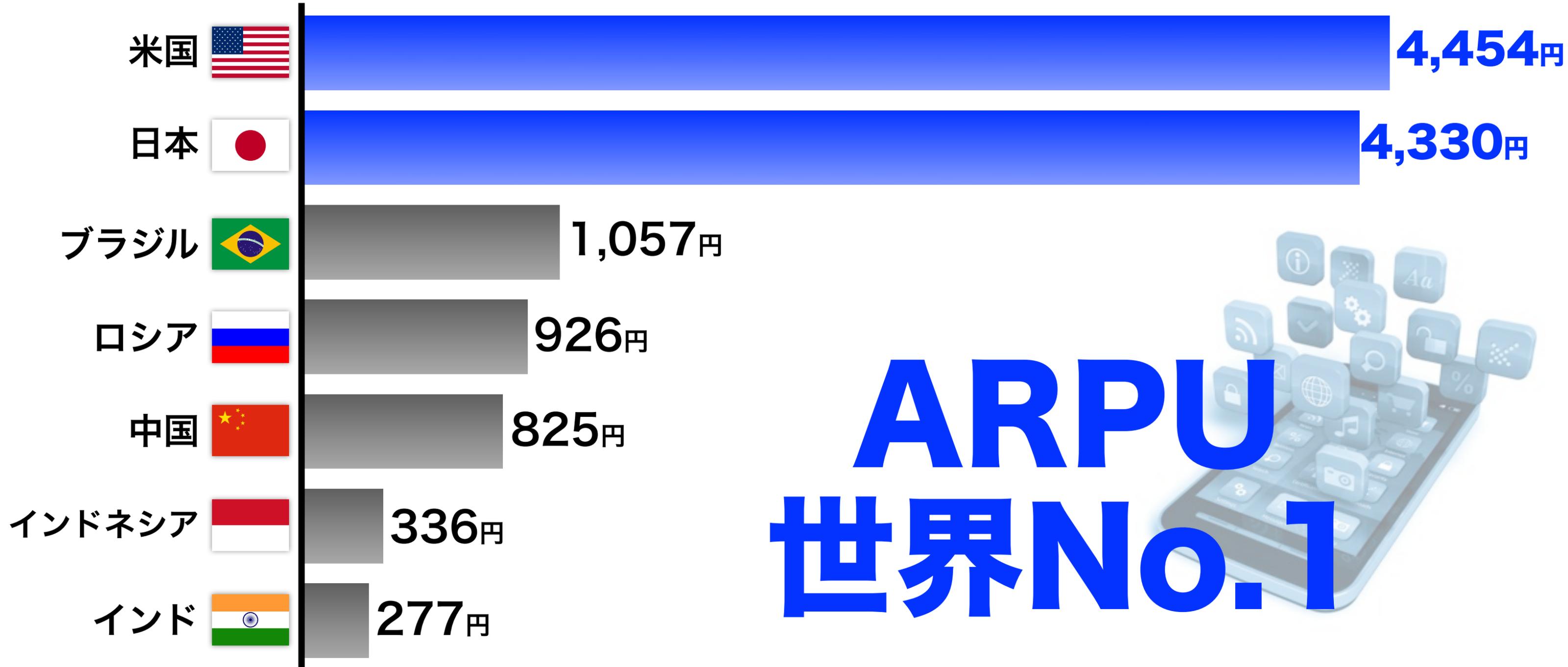


スマートフォン 最先進国



※iOS及びAndroid搭載端末の稼働台数
※出所 : Flurry Analytics, Active Devices during July 2012

ARPU

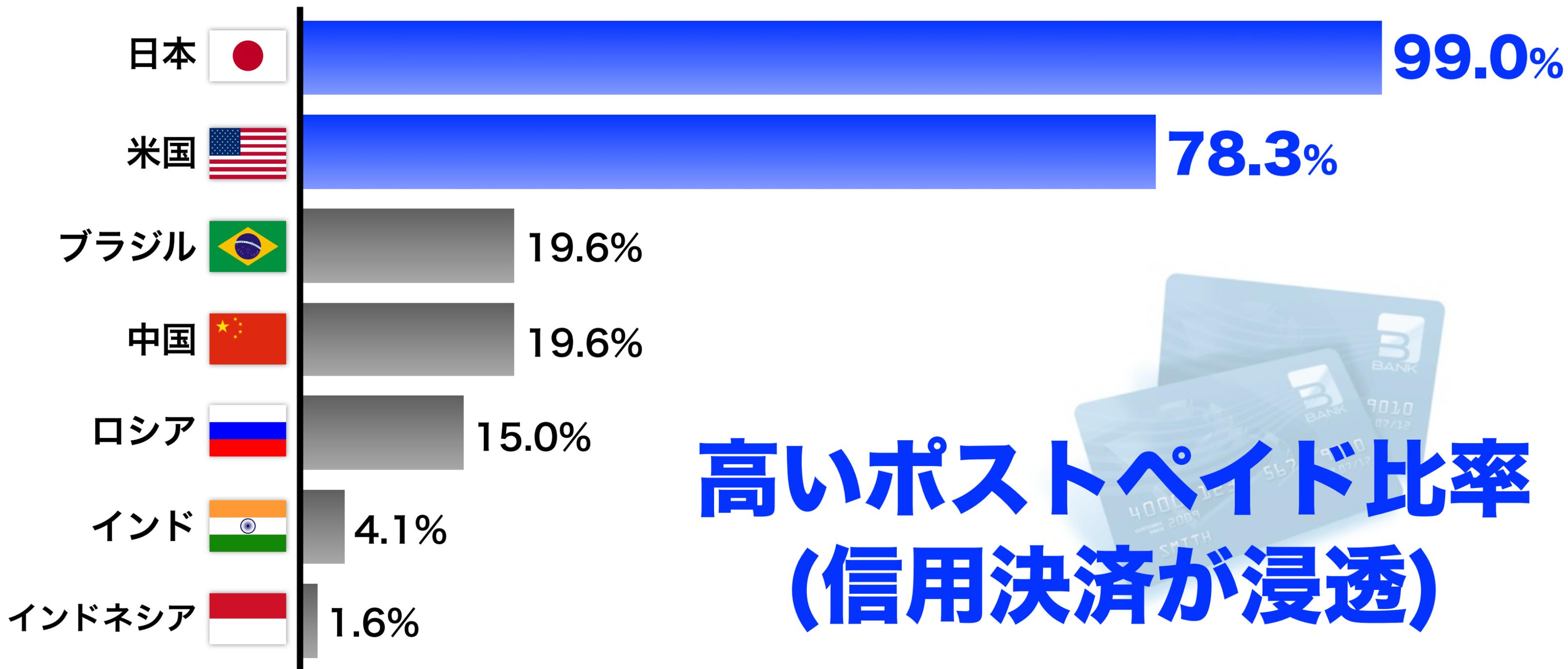


ARPU 世界No.1



※出所：Wireless Intelligence (2012年4～6月期)
※累計契約数上位7カ国のランキング

ポストペイド比率

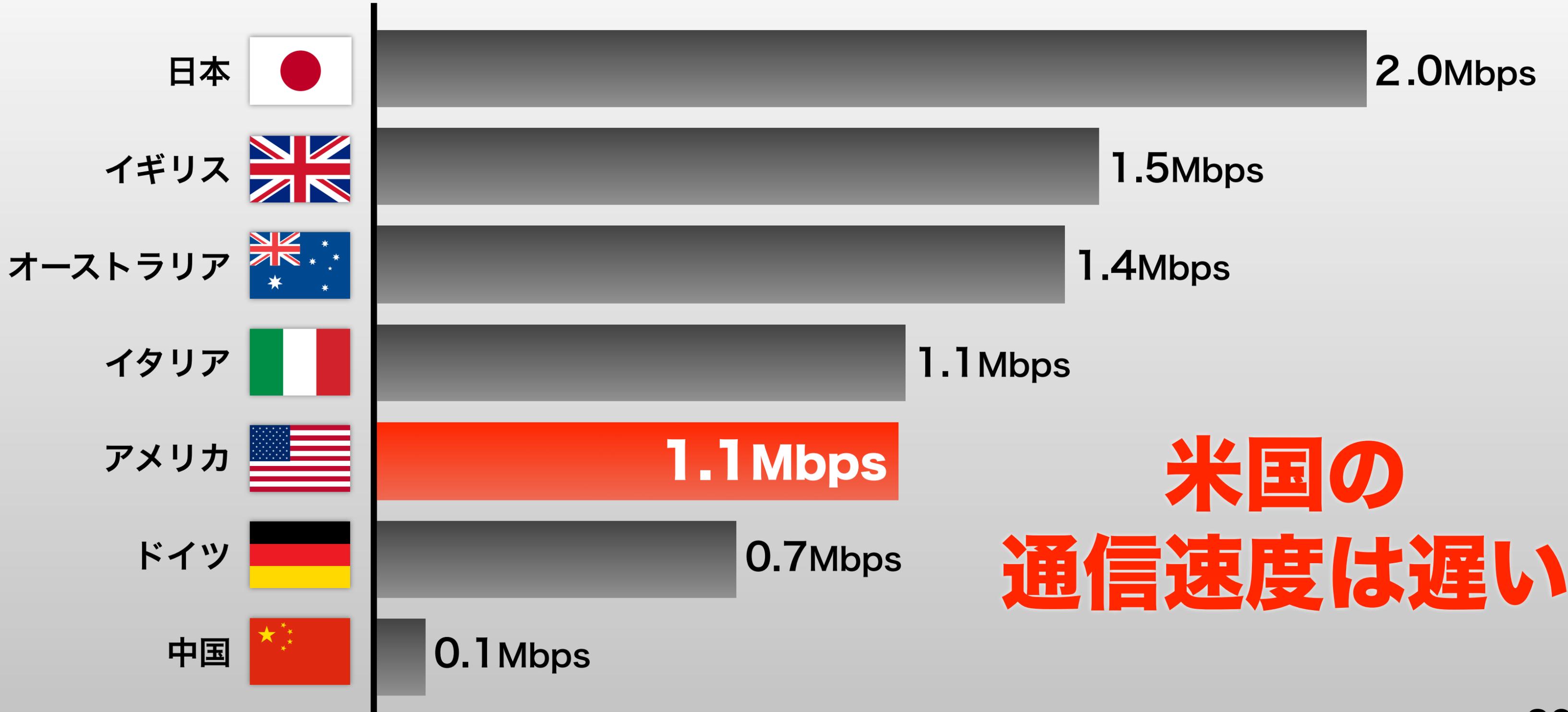


※出所：Wireless Intelligence(2012年6月末)
※累計契約数上位7カ国のランキング



しかし...

モバイル実効速度 (2011年)

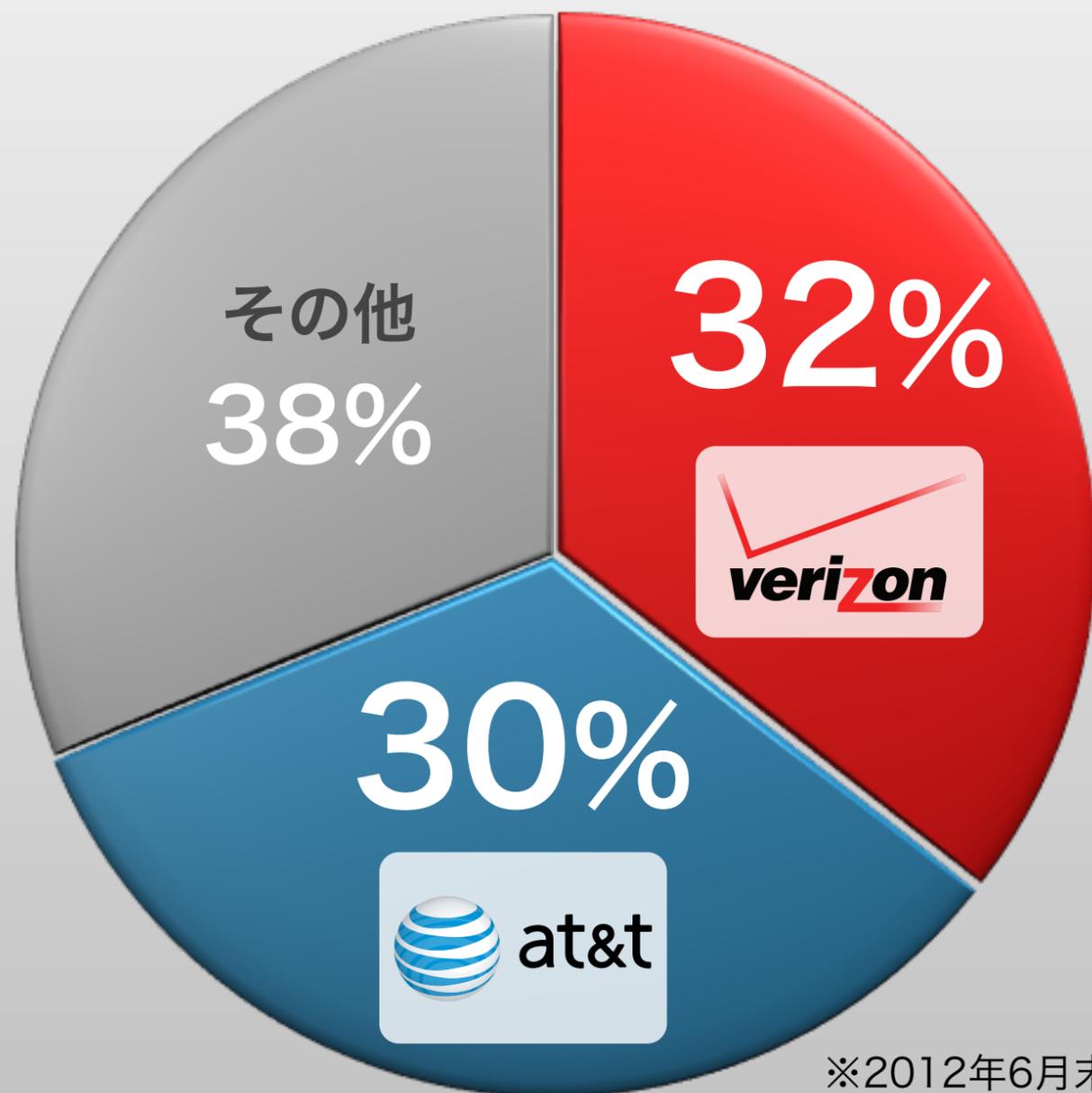


**米国の
通信速度は遅い**

※出所 : Cisco VNI Mobile 2011

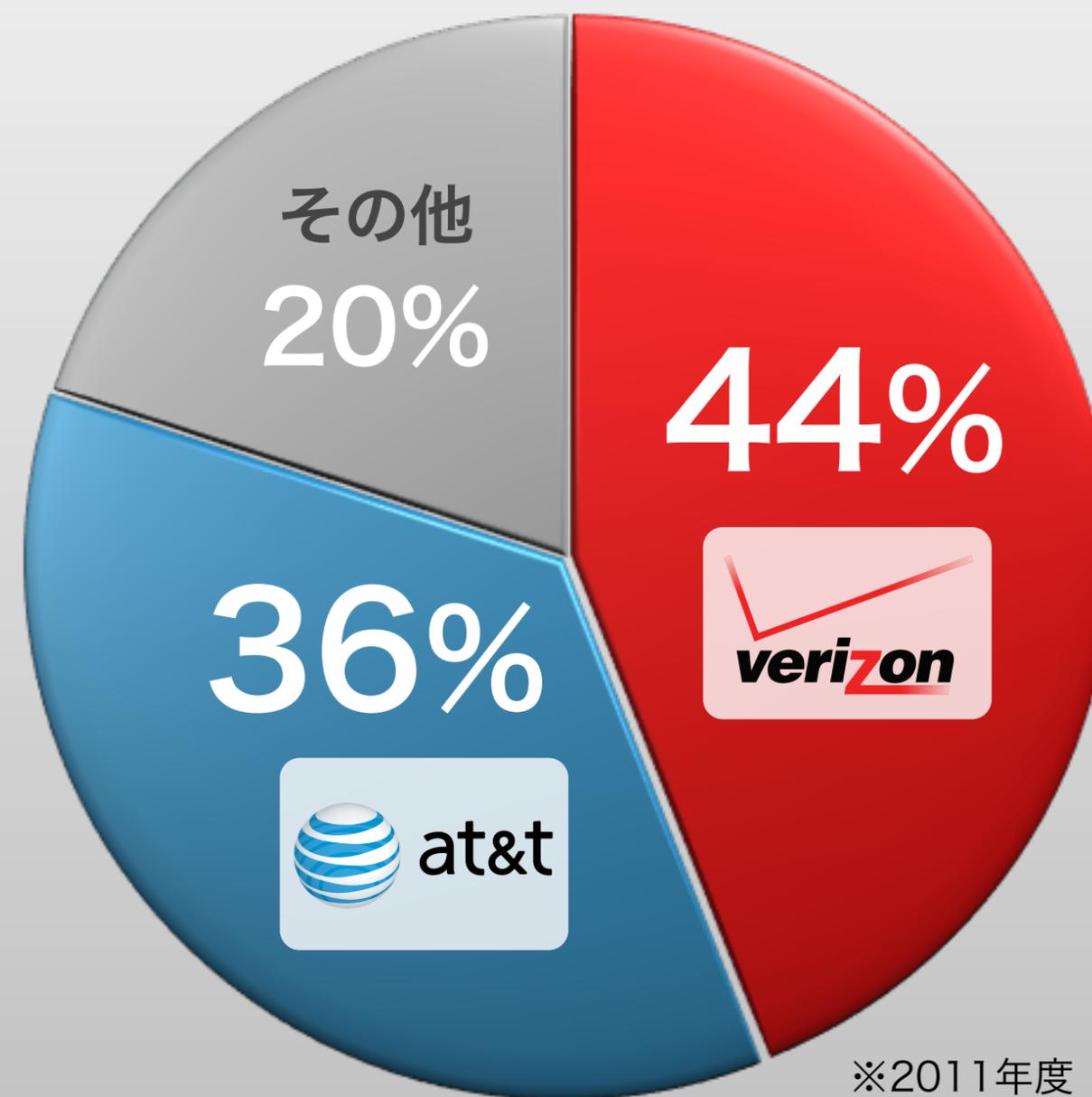
上位2社の寡占市場

契約数シェア



※2012年6月末

償却前営業利益(EBITDA)シェア



※2011年度

※出所 : Wireless Intelligence

米国携帯市場の特徴

1. 巨大市場でスマホが急成長
2. 高ARPU、ポストペイド中心
3. 通信速度が遅い
4. 二社の寡占市場

大きな成長ポテンシャル



SoftBank + Sprint[®]





Sprint[®]



Dan Hesse

Chief Executive Officer

Sprint[®]



• ポストペイド第3位

(3,300万加入者)*

• プリペイド第2位

(1,500万利用者)*

• 売上高第3位

(340億ドル)

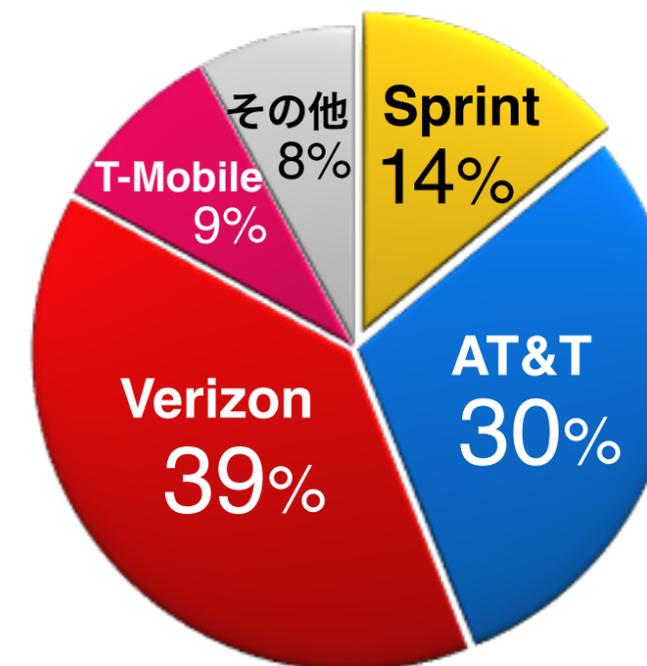
• 通信収入成長率第1位

(前年同期比 8.2%増)*

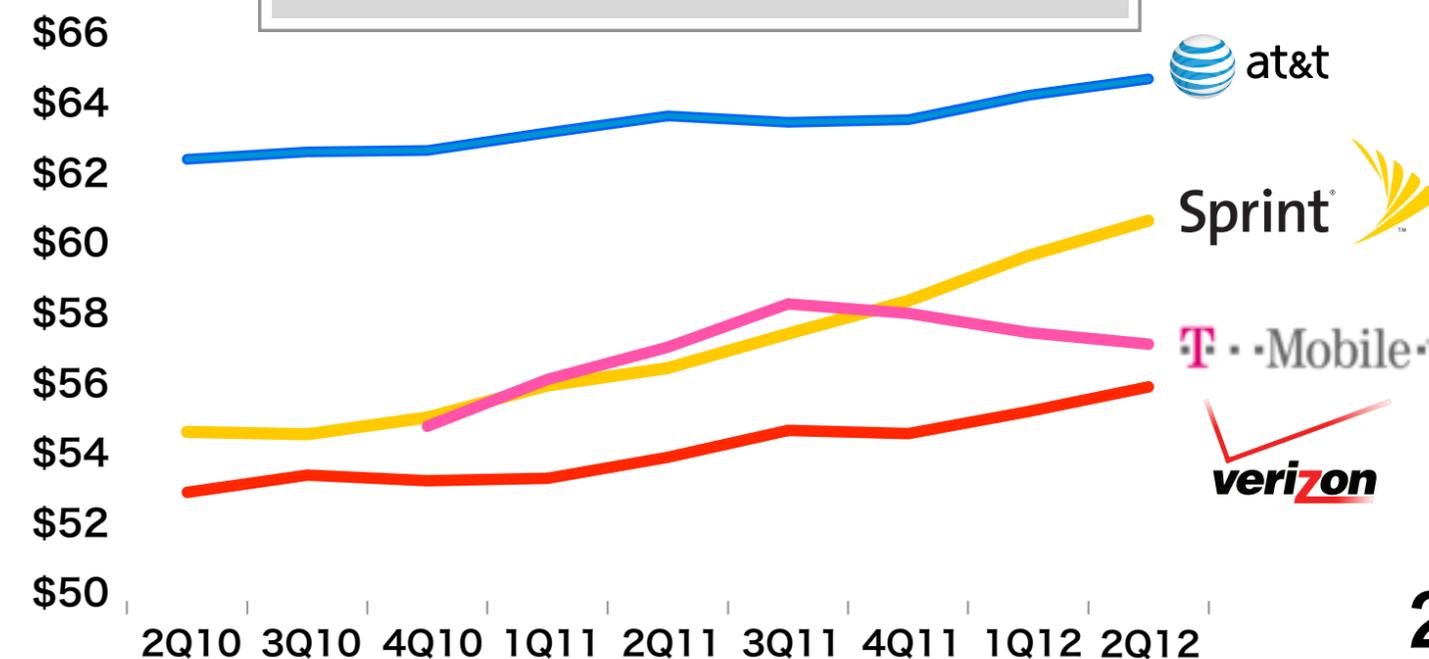
• ARPU成長率第1位

(前年同期比 7.4%)*

ポストペイド加入者(米国) *



ポストペイドARPU(米国)



※2012年Q2時点
他社の契約者数は当社推定

3つのフェーズ

1. 再建

- ブランド改善
- 加入者数純増へ
- 売上増加へ
- コスト削減
- 投資フェーズに備えた資金確保

2. 投資

- 世界水準のNW構築
- NW重複コスト見直し
- コア事業への集中

3. 利益成長

- ネットワークビジョンによる売上拡大及び利益成長

2008 - 2011

2012 - 2013

2014+

顧客満足度の大幅改善

- **総合顧客満足度No.1** (米国主要通信事業者間)
- **過去4年間改善度No.1** (米国企業47業種間)
- **最下位からNo.1へ** (米国全産業内 過去4年間)



携帯電話サービス顧客満足度

Sprint: 3期連続No.1 (2012年度第2四半期)

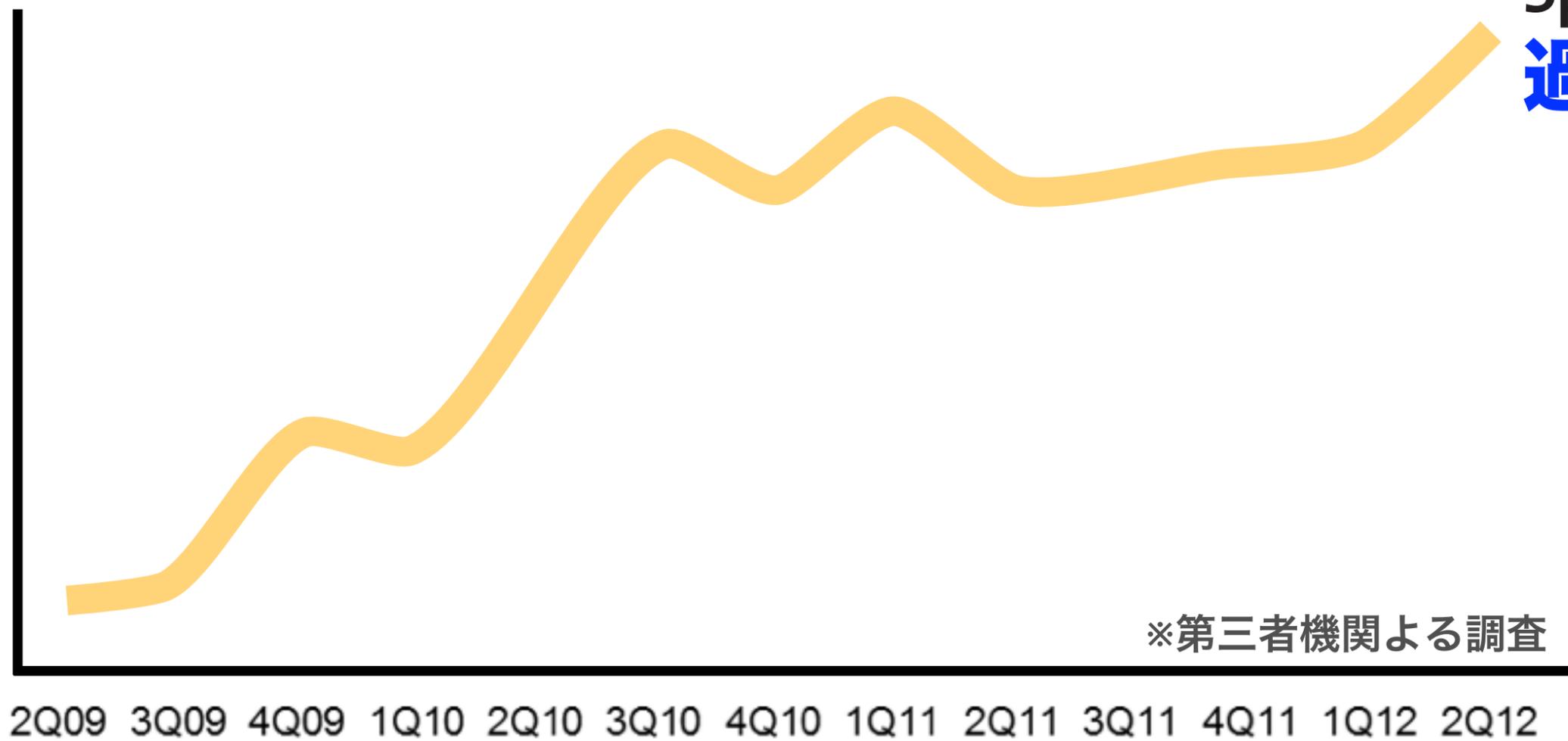
携帯電話サービス顧客満足度

Boost: 2期連続No.1 (2012年度第1四半期)

携帯電話カスタマーサポート満足度

Virgin: 2期連続No.1 (2012年度第2四半期)

ブランド力指数
(ネットプロモータースコア)



Sprint
過去最高

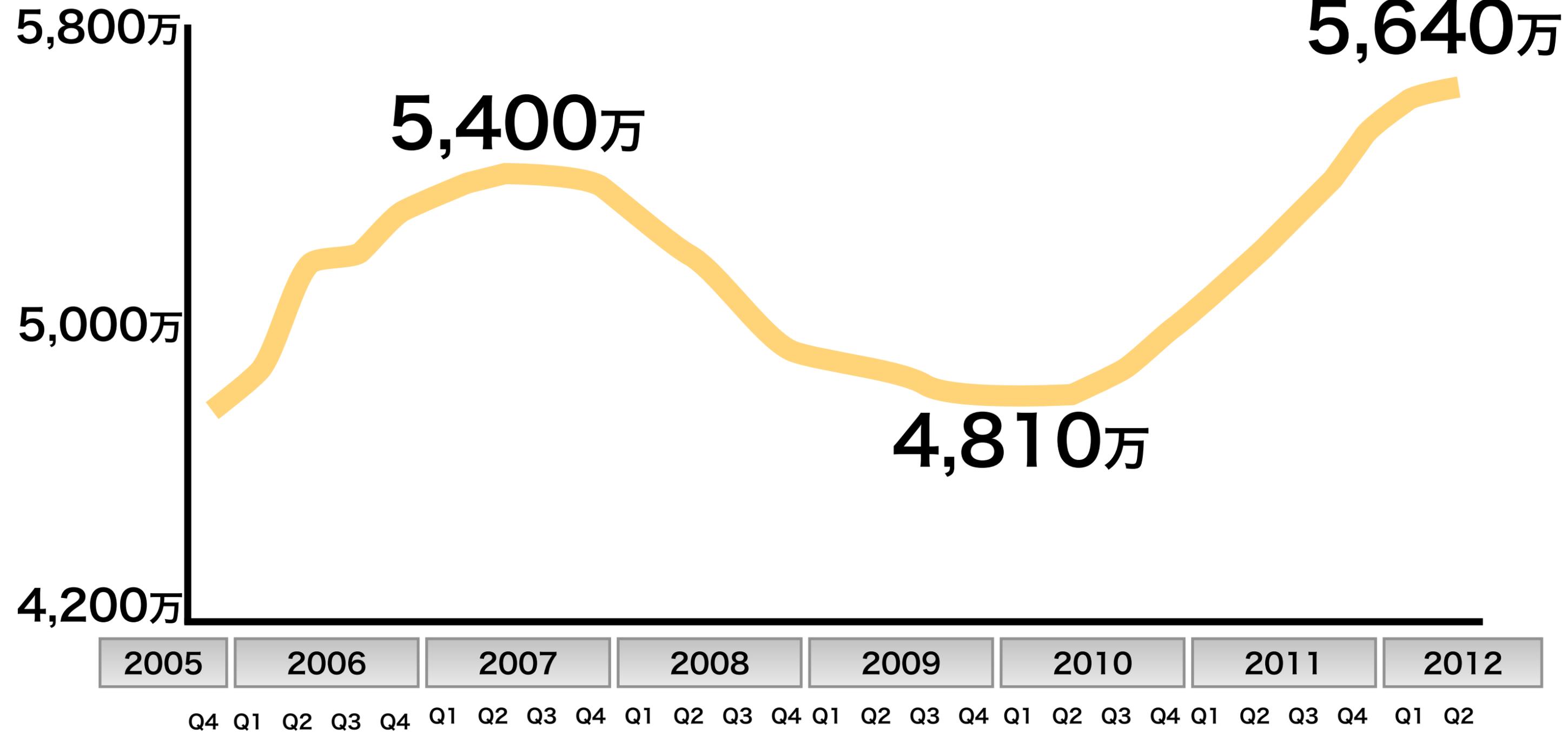
• **米国事業者の中で唯一の改善**

(2012年前年同期比及び前期比)

• **全米ポストペイド携帯ブランド内で2年連続No.1**

契約者数

過去最高水準(2012年6月末)



環境への貢献



- **グリーン企業 全米第3位**
- **上位25社中 唯一の通信事業社**

Sprintは
北米ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)に
おいて携帯通信セクターリーダーとして2年連続で登録

キャッシュマネジメント

料金プランの簡素化 85%削減

顧客サービスの改善でコスト削減を実現

カスタマーケア費用
(課金業務の改善を含む)

46%

一般販売管理費

49%

マーケティング &
プロダクト費用

32%

IT &
料金関連

34%

人件費

33%

- 年間現金支出削減47億米ドル*
- 2012年第2四半期の調整後償却前営業利益は14.5億米ドルに (前年比10%増、前四半期比20%増)

ネットワークビジョン

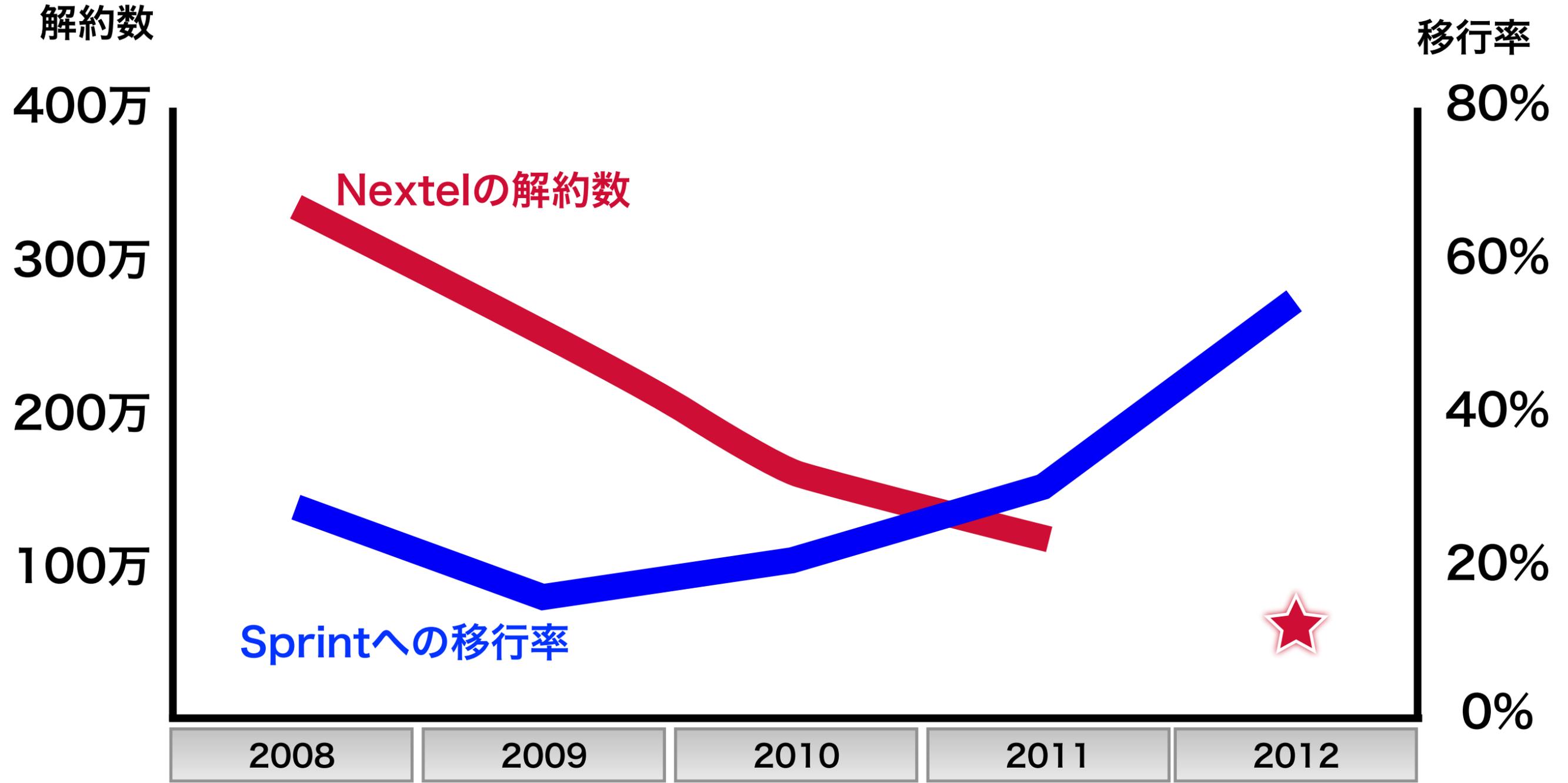
- Nextelプラットフォーム停止
- Sprintプラットフォーム高度化
- LTEネットワーク展開



経済的効果

- ネットワーク重複解消により
年間15億ドルのコスト削減
- ローミング費用削減
- 営業費用削減
- 設備投資の効率化 最大50%削減

NextelからSprintへの移行 (ポストペイド)



3つのフェーズ

1. 再建

- ブランド改善
- 加入者数純増へ
- 売上増加へ
- コスト削減
- 投資フェーズに備えた資金確保

2. 投資

- 世界水準のNW構築
- NW重複コスト見直し
- コア事業への集中

3. 利益成長

- ネットワークビジョンによる売上拡大及び利益成長

2008 - 2011

2012 - 2013

2014+

本取引による効果

• 米国市場における競争力の強化

- 財務改善によりSprintの好調トレンドを継続
- 新たな成長に向けた財務の柔軟性を確保

• ソフトバンクのV字回復のノウハウ

- 競争力向上および財務改善の実績
- LTE技術のリーディングカンパニー

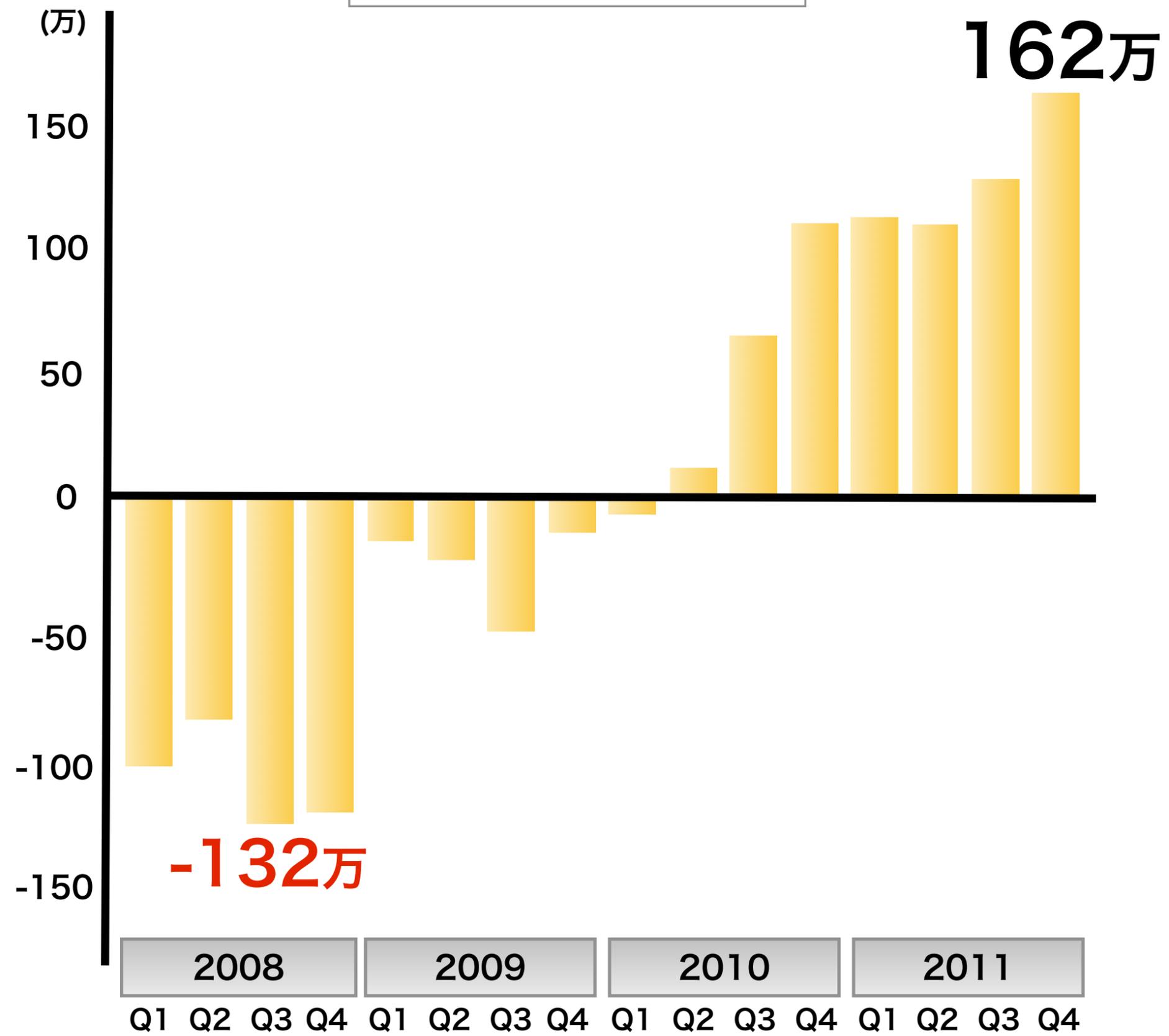
• 株主価値向上に向けた最善の方策



SoftBank + Sprint[®]



Sprint 純増数

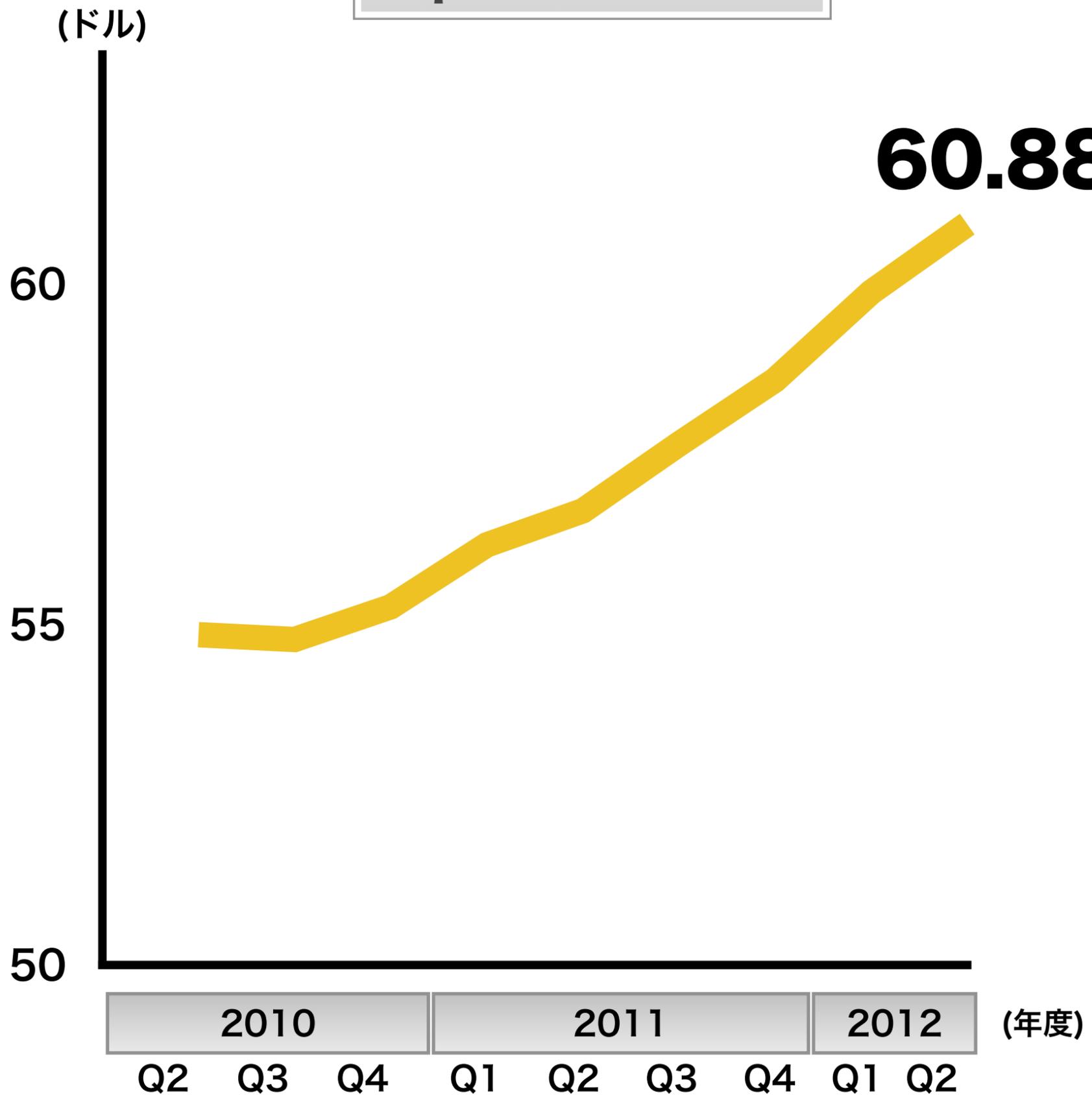


反転



※Sprint PlatformとNextel Platformの合計
 (Postpaid、Prepaid、Wholesale and affiliateを含む)
 ※出所：Sprint開示資料

Sprint ARPU



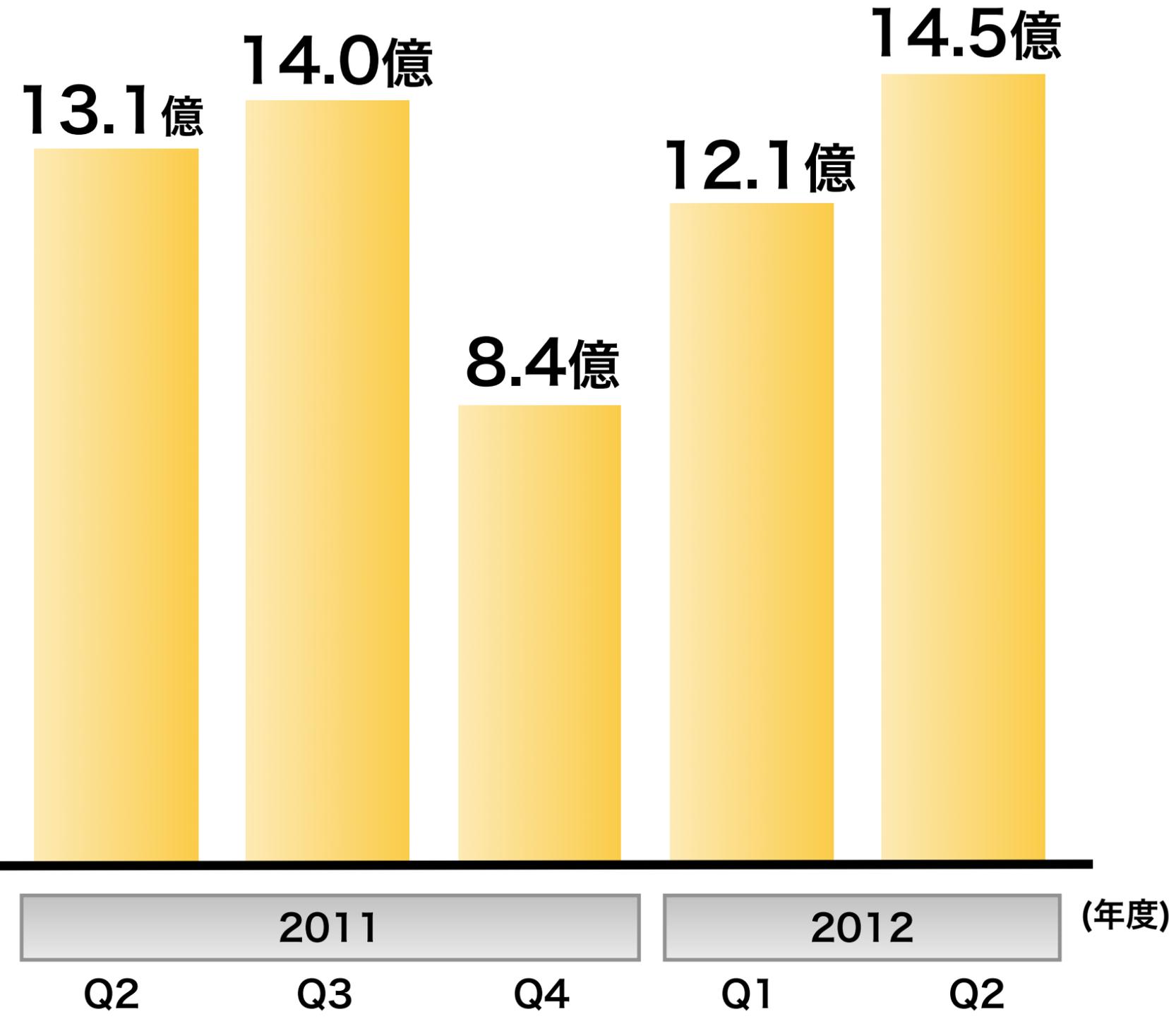
60.88ドル

順調に増加



※出所：Sprint開示資料
※リテールポストペイドユーザーのARPU

(ドル)

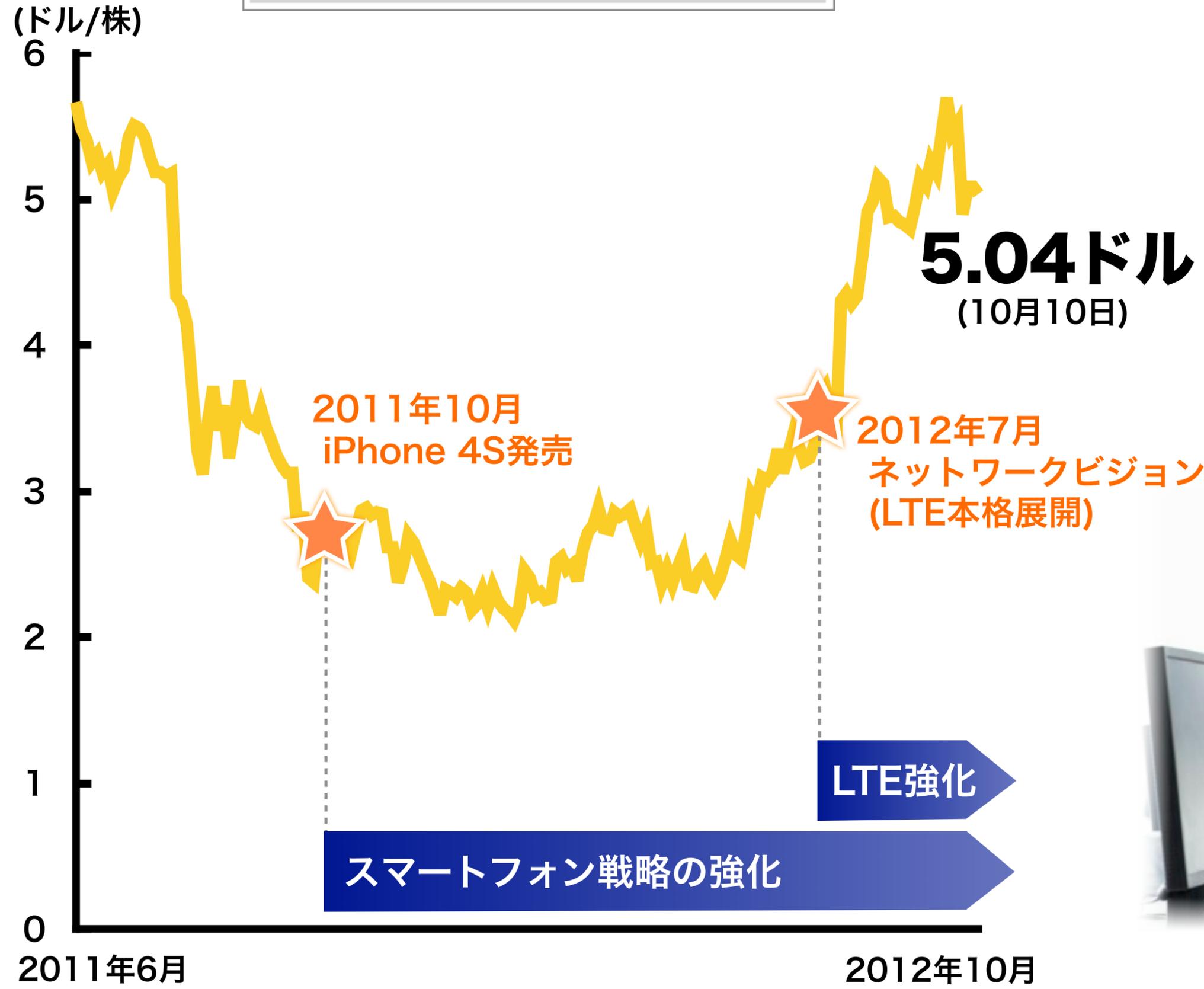


反転



※出所：Sprint開示資料(調整後OIBDA)

Sprint 株価推移



反転



3つのフェーズ

1. 再建

- ブランド改善
- 加入者数純増へ
- 売上増加へ
- コスト削減
- 投資フェーズに備えた資金確保

2. 投資

- 世界水準のNW構築
- NW重複コスト見直し
- コア事業への集中



SoftBank

3. 利益成長

- ネットワークビジョンによる売上拡大及び利益成長

2008 - 2011

2012 - 2013

2014+

2つの疑問

疑問1

この投資は成功しますか？



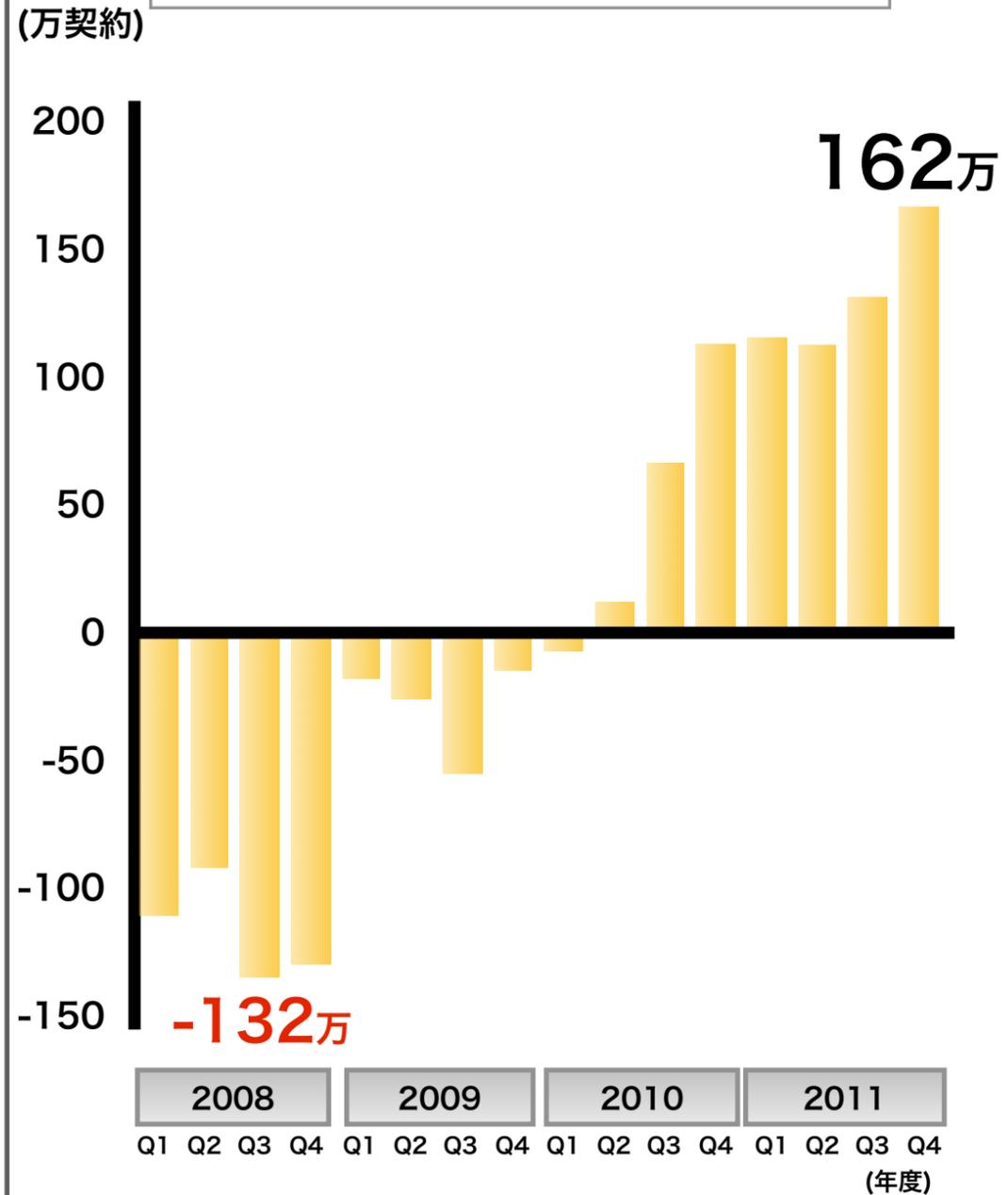
自信があります

すでに業績回復中

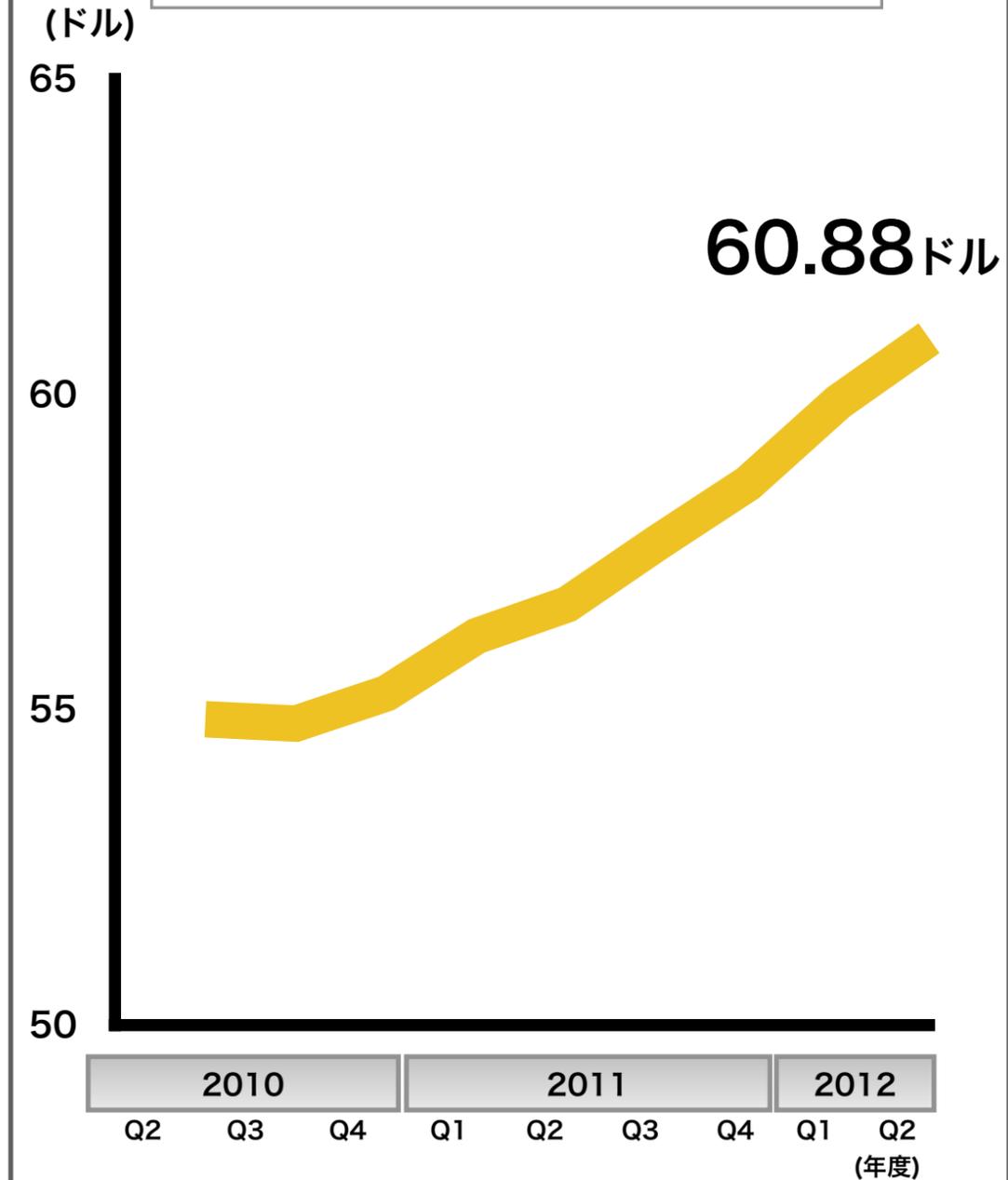
Sprint®



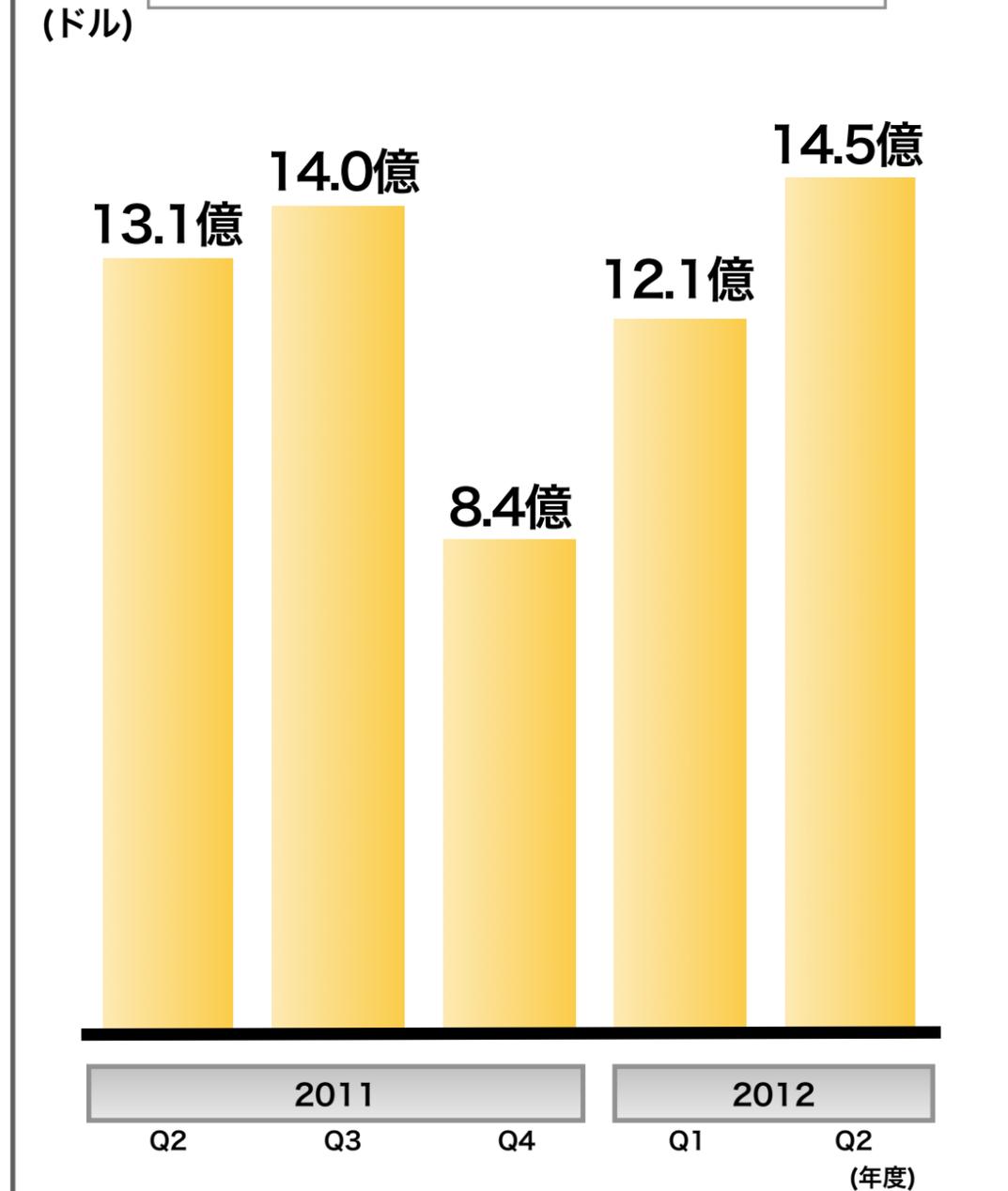
純増数



ARPU



償却前営業利益



ソフトバンクの貢献による さらなる競争力強化

資金

戦略

ソフトバンクの貢献(資金)

増資資金 6,240億円(80億ドル)

- **ネットワーク強化**
- **戦略的投資**
- **財務体質の強化**

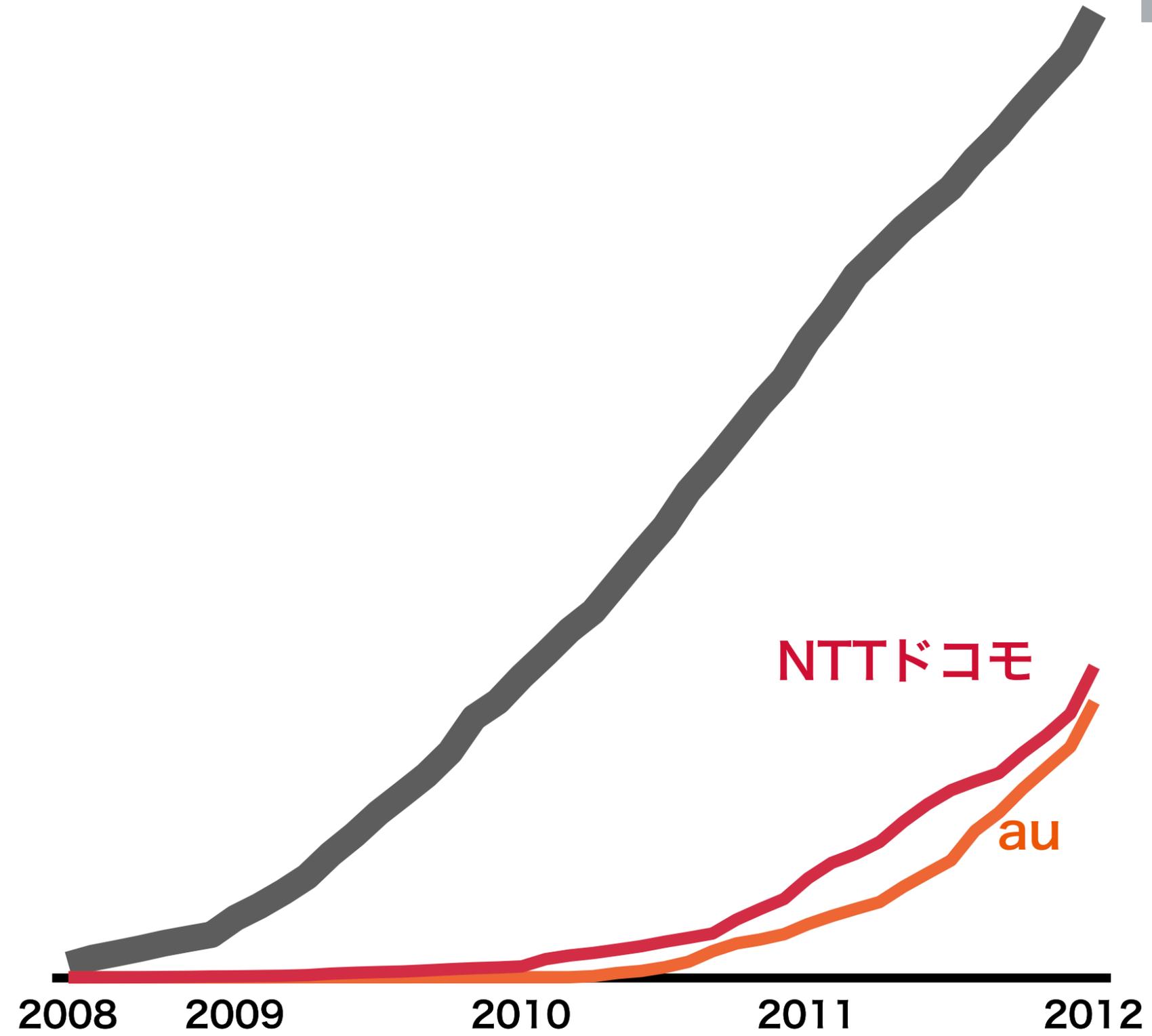
ソフトバンクの貢献(戦略)

グループシナジー

- **スマートフォン戦略**
- **LTE戦略**
- **V字回復のノウハウ**

SoftBank

スマホNo.1



※外部調査会社による主要量販店での販売台数調査

モバイル実効速度

SoftBank 4G



docomo LTE Xi



UQ WiMAX (KDDIグループ)



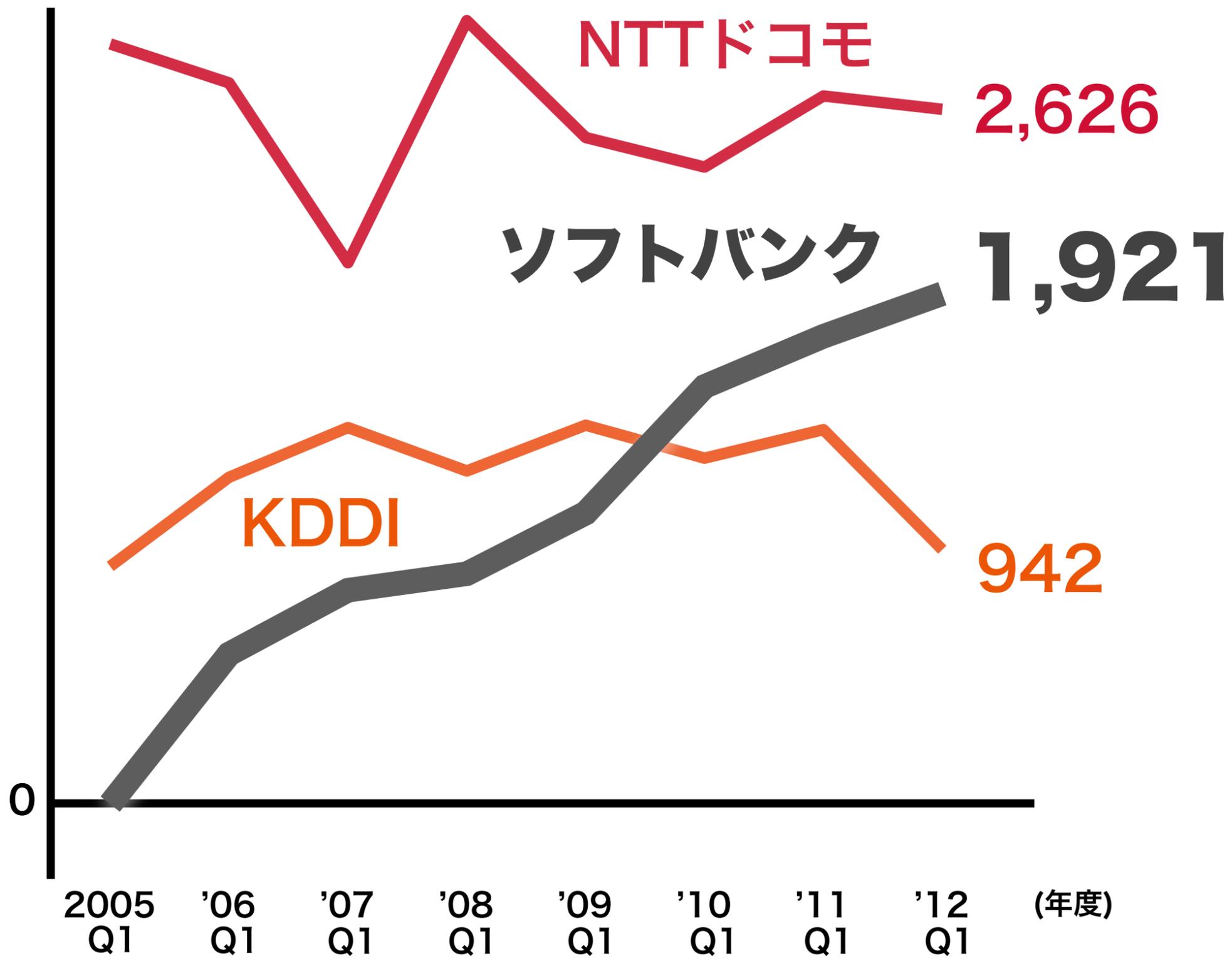
速度No.1



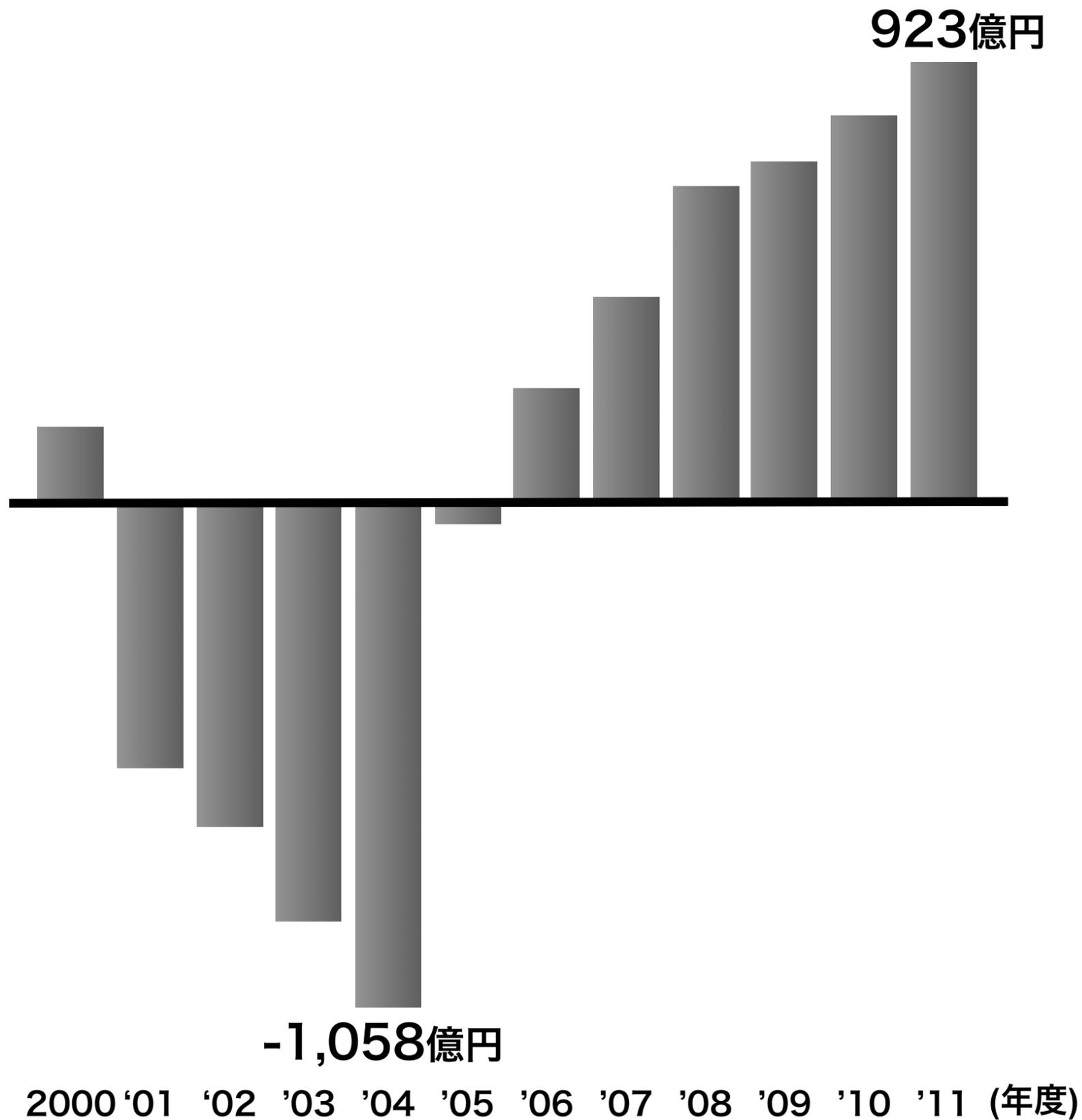
※出所：株式会社ICT総研 次世代高速データ通信 通信速度実測調査(首都圏平均、2012年8月28日)
 ※首都圏18駅ホームにおいて各々3回ずつ測定した下り通信速度の平均値

(億円)

営業利益



最大の成長率



V字回復

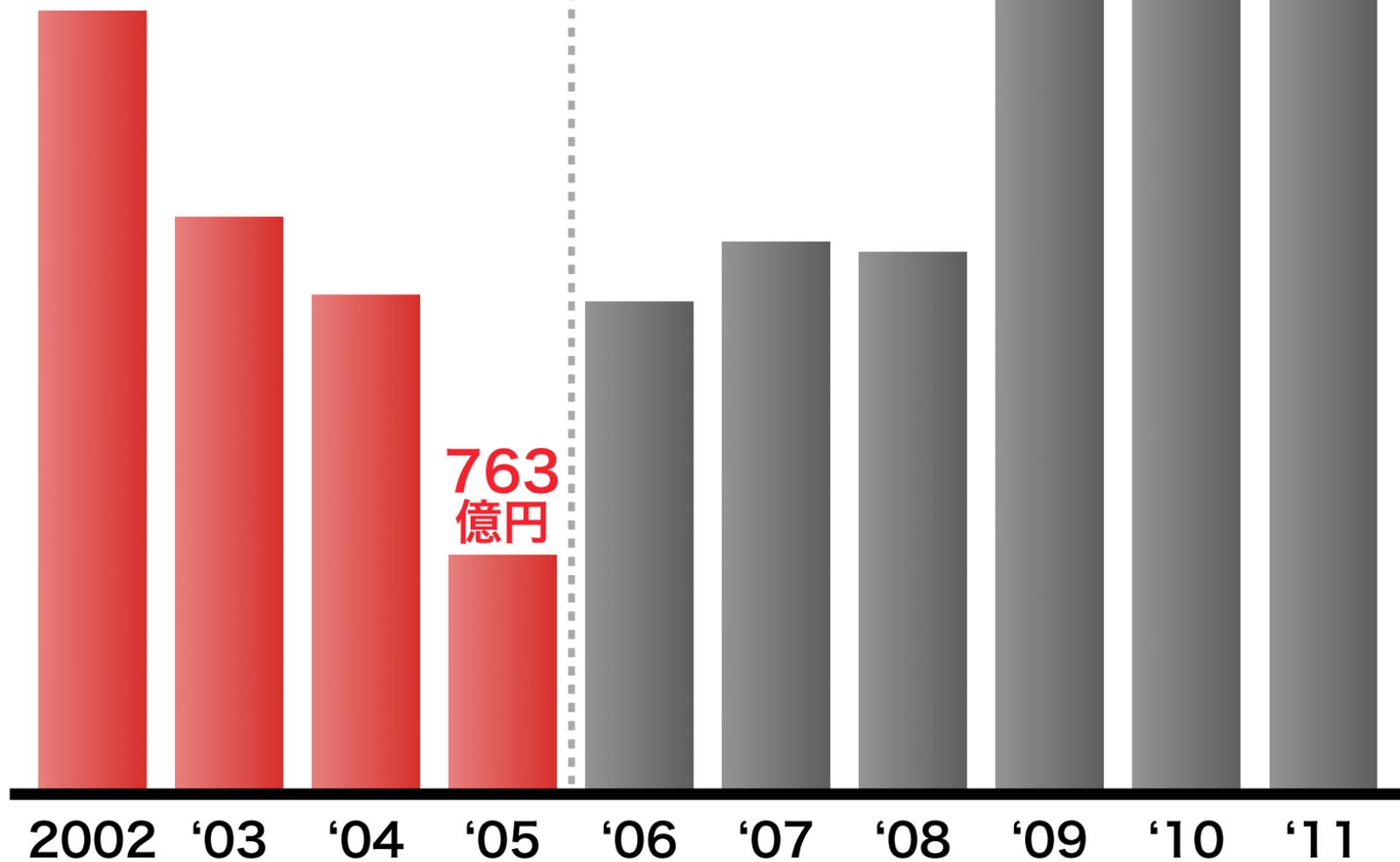


※ブロードバンド・インフラ事業を含む

V字回復

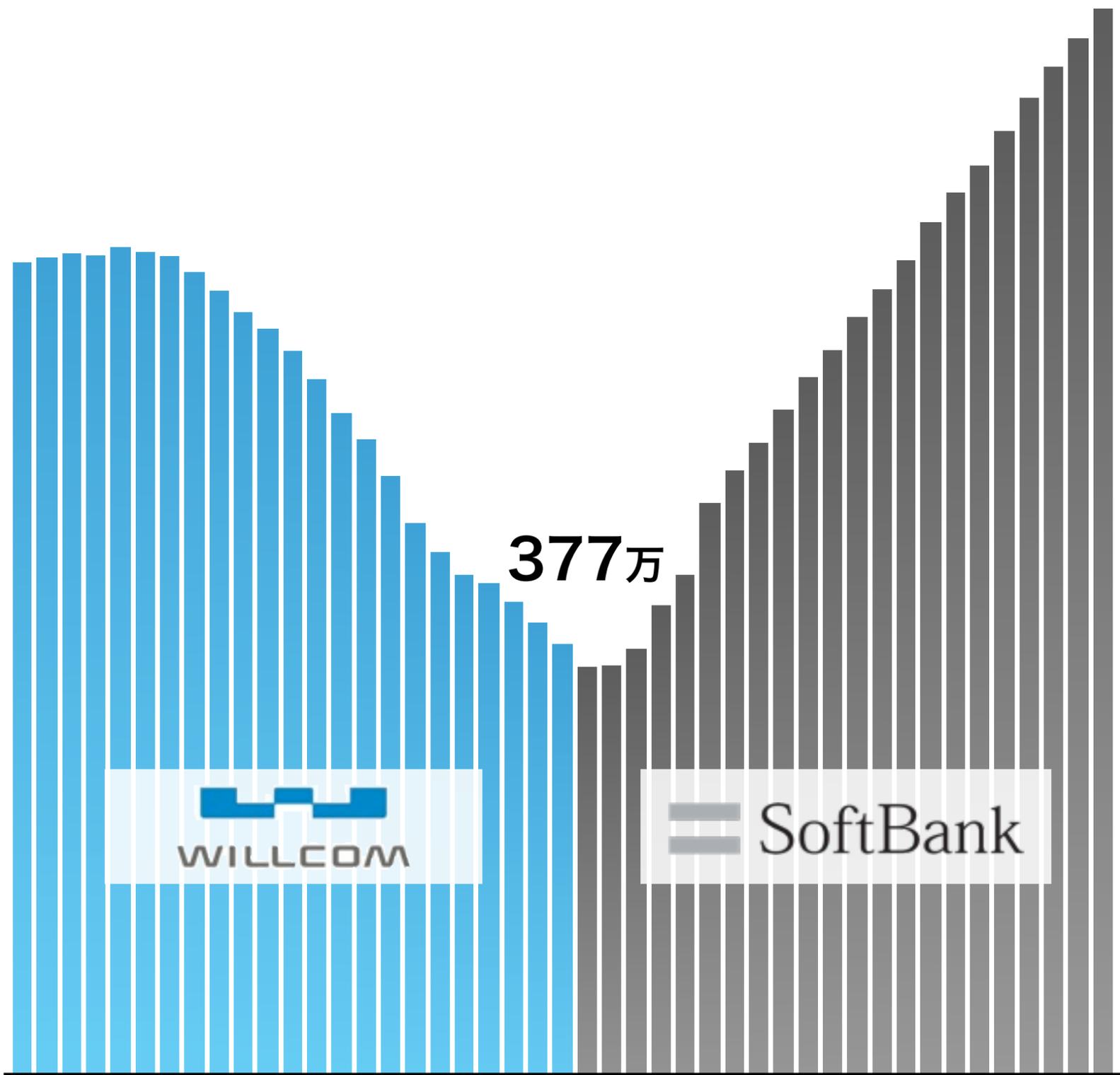


SoftBank



503万

377万



V字回復



2009年5月

2010年12月

2012年9月

※PHS+3G

2004年



日本テレコム

赤字体質

2006年



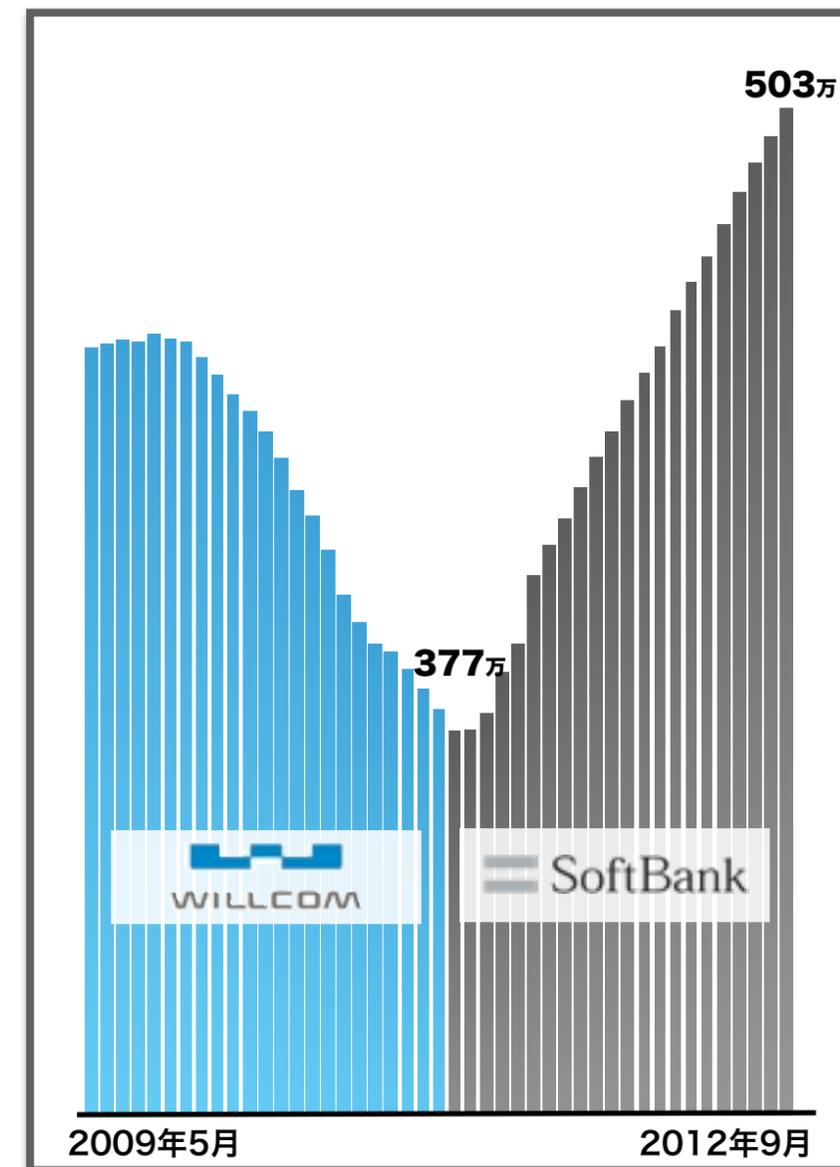
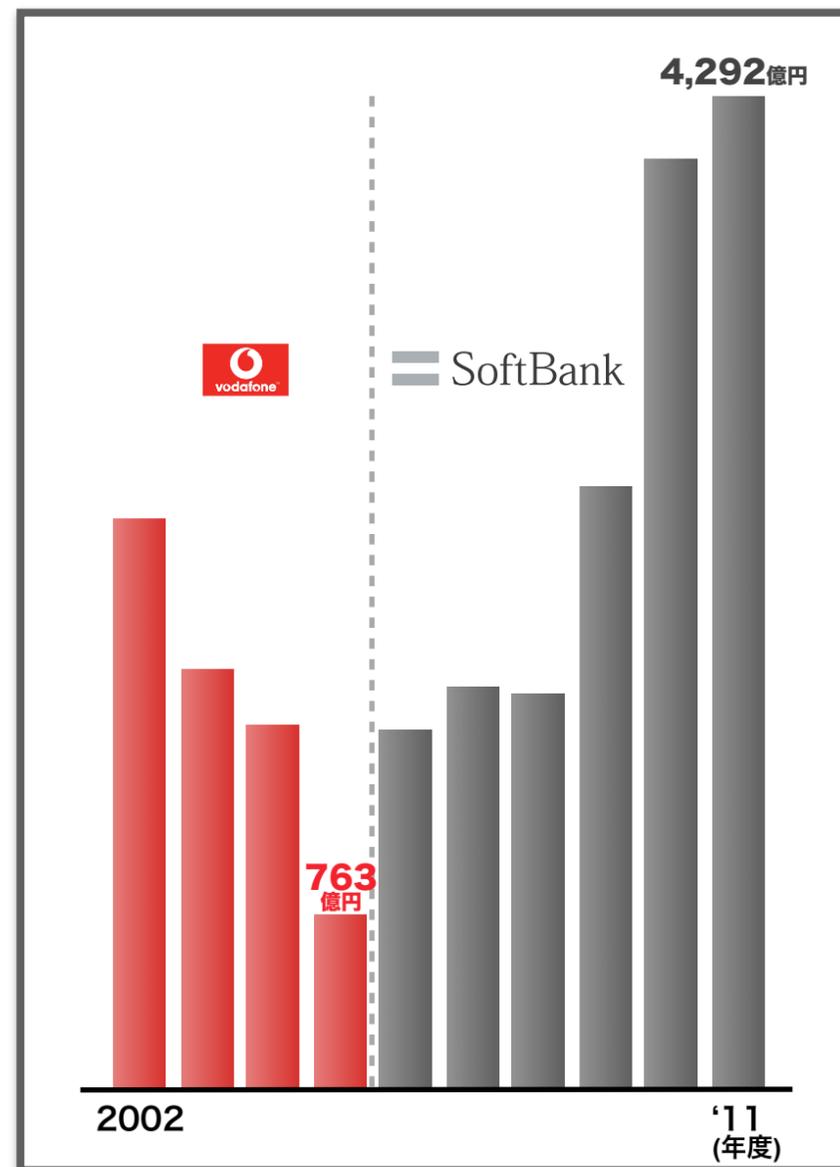
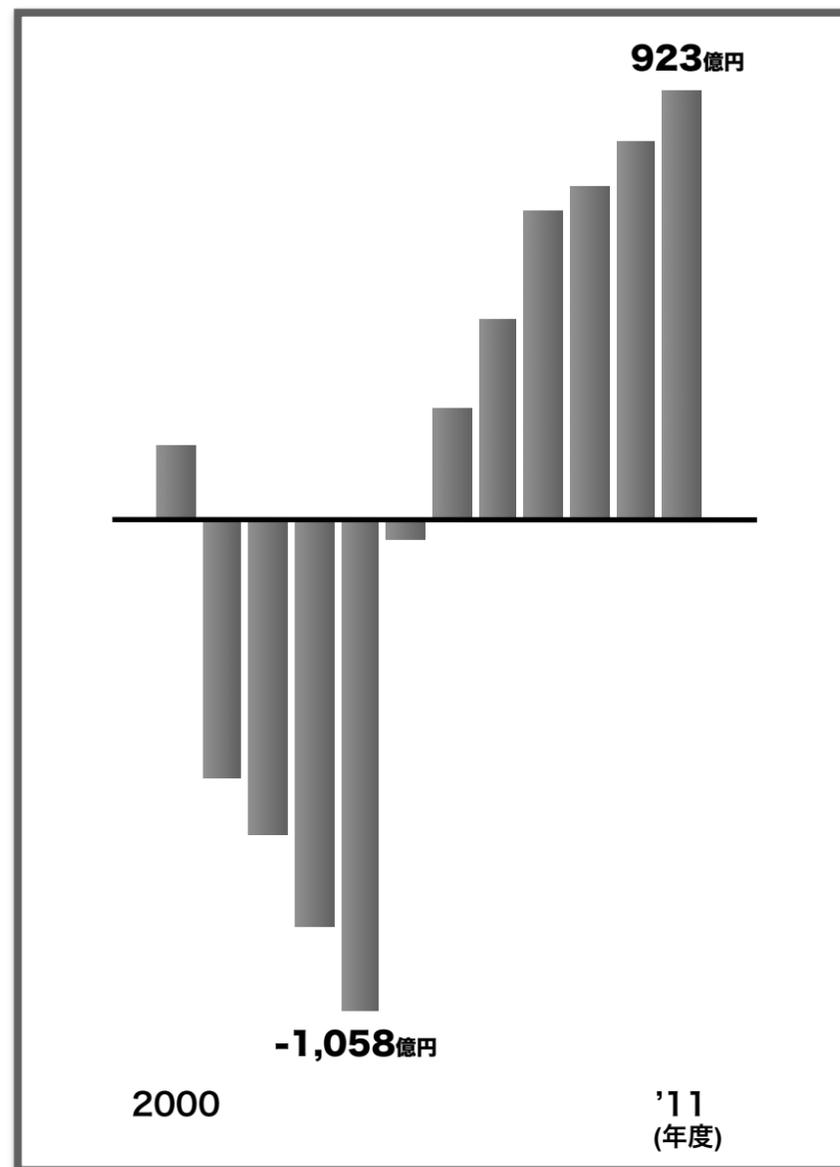
赤字転落寸前

2010年



WILLCOM

経営破綻



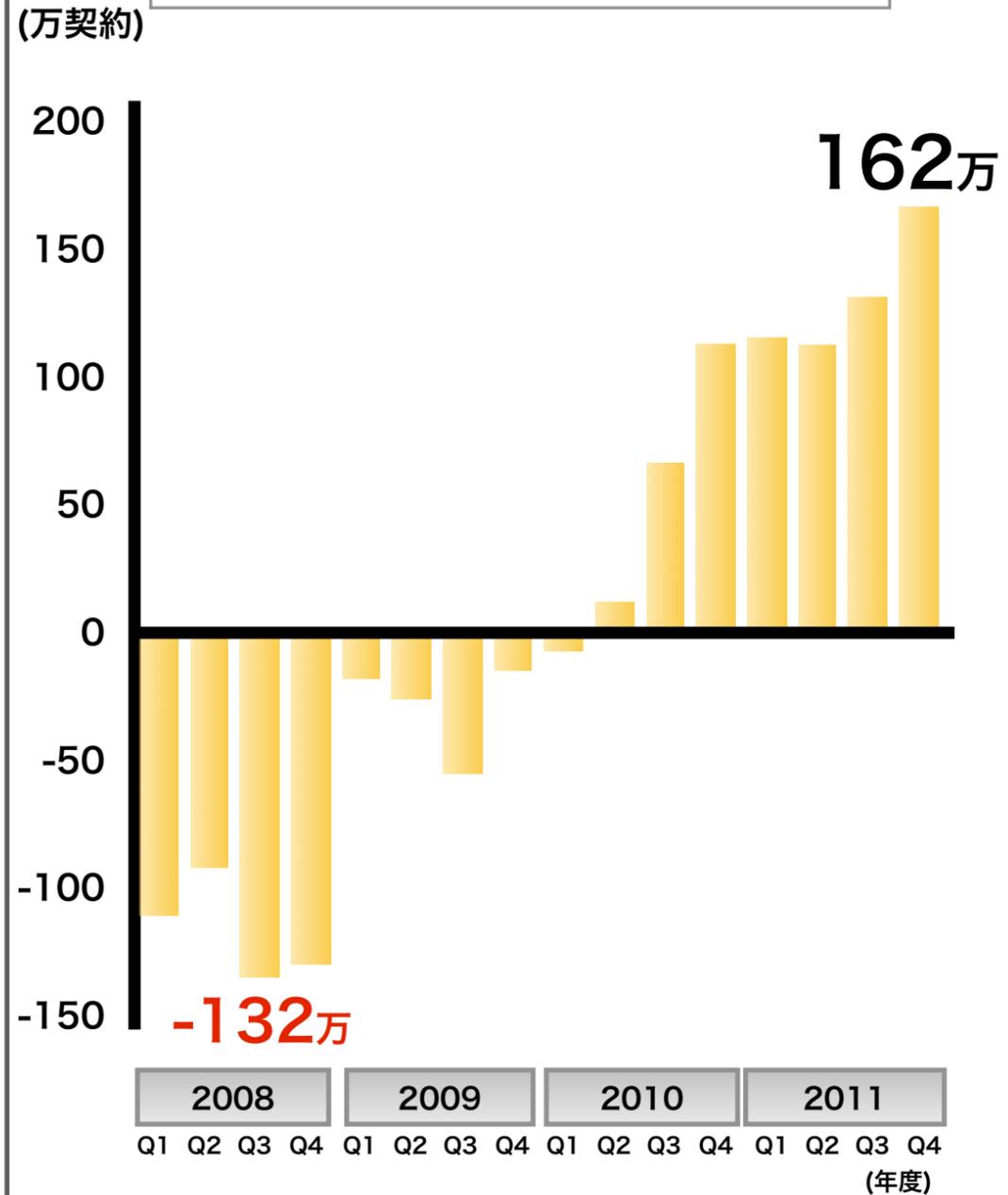
V字回復の実績

すでに業績回復中

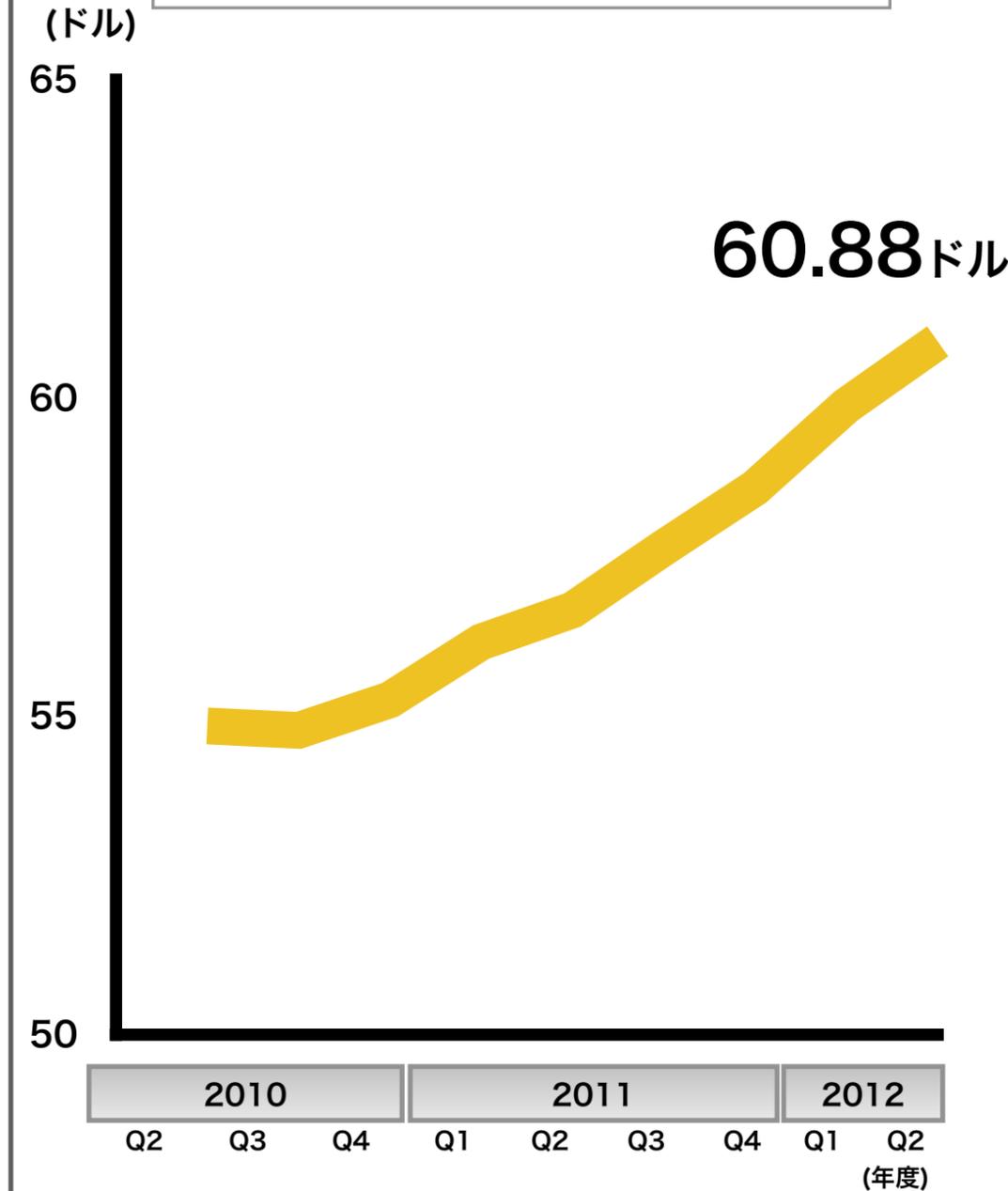
Sprint®



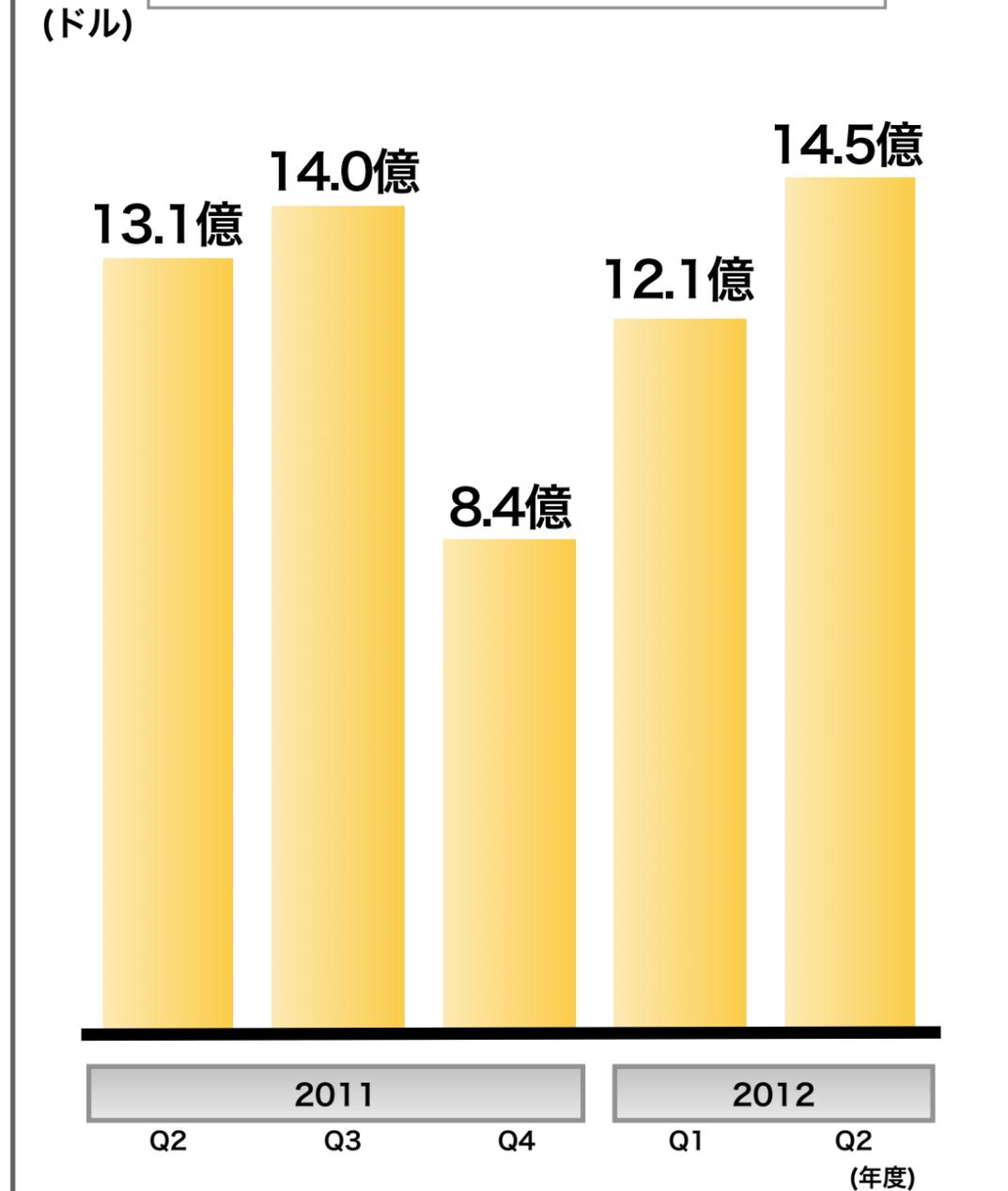
純増数



ARPU



償却前営業利益



両社のシナジー創出へ

スマホ



Apple

SAMSUNG

htc



MOTOROLA

ネットワーク

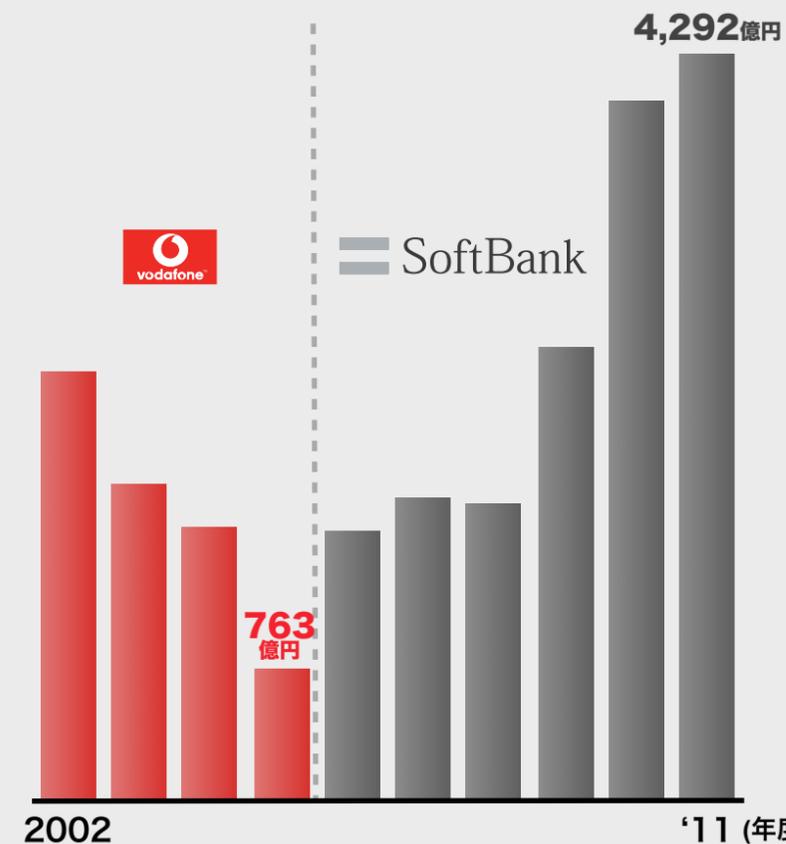


ERICSSON

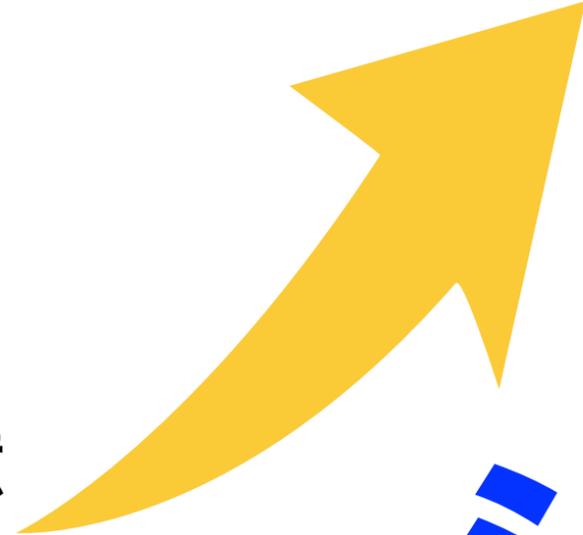
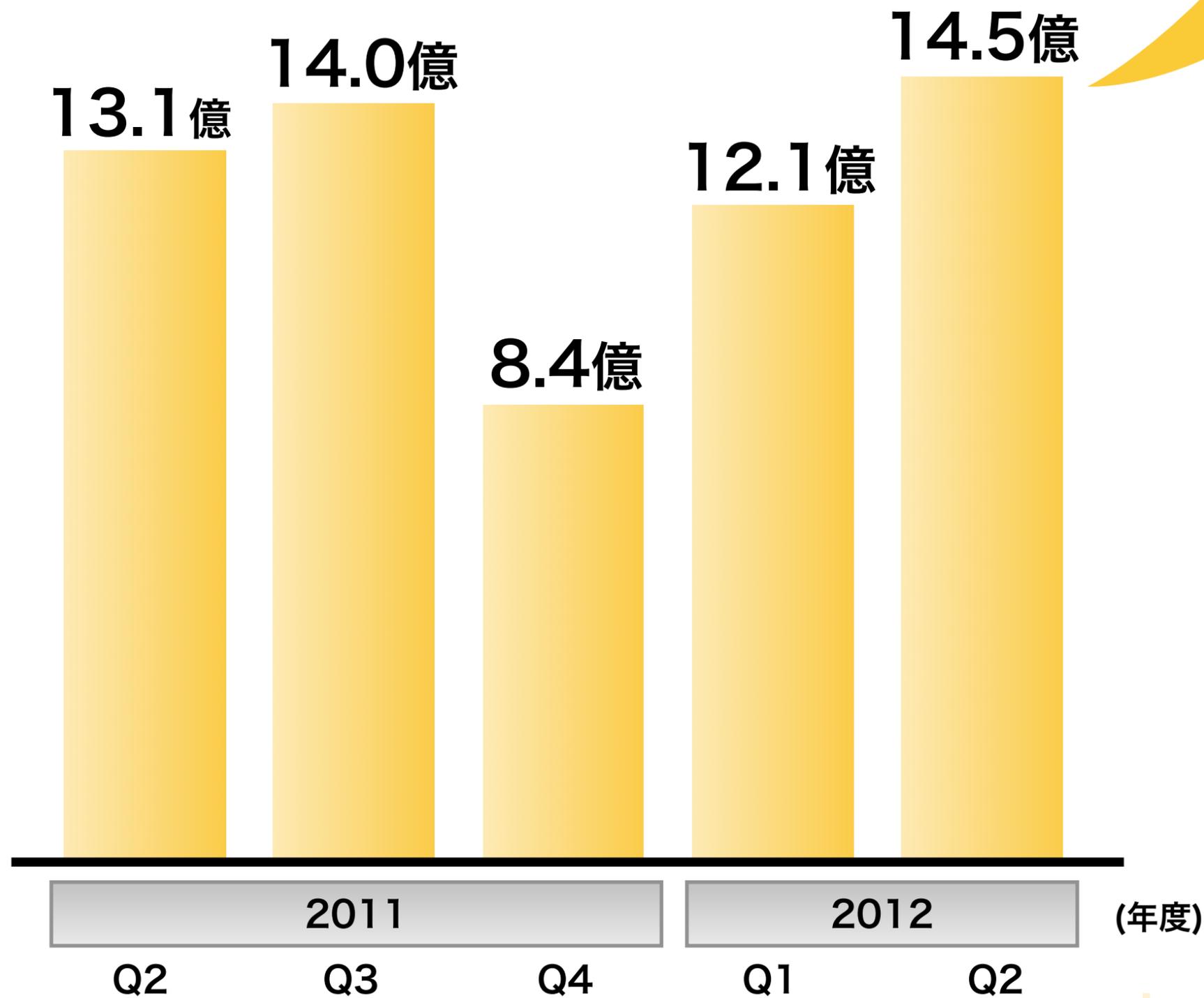


Nokia Siemens Networks

V字回復



(ドル)

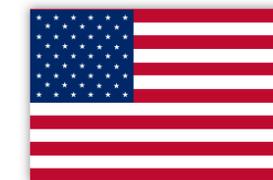


シナジーで 成長路線へ



※出所：Sprint開示資料(調整後OIBDA)

モバイルEBITDA(%)

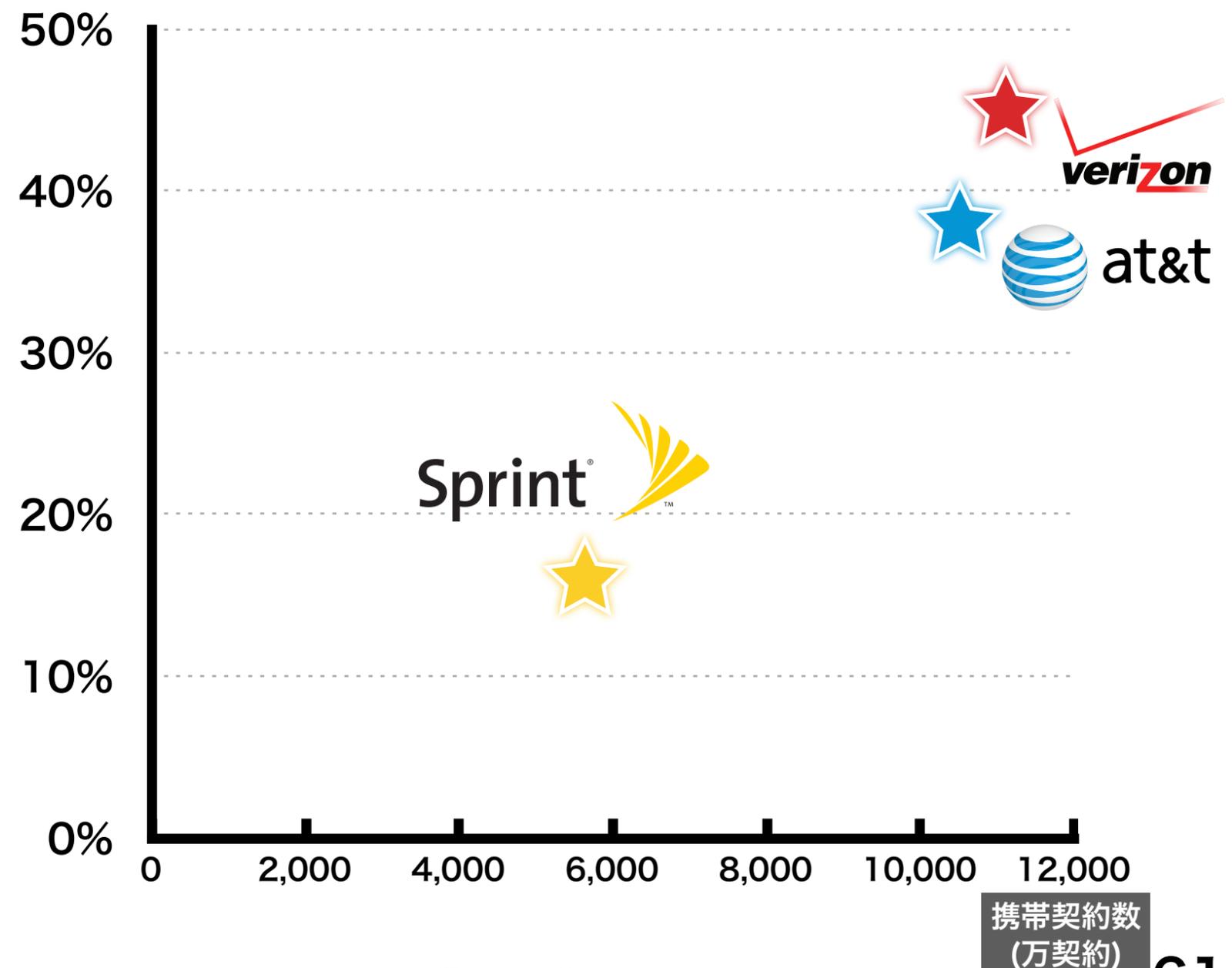
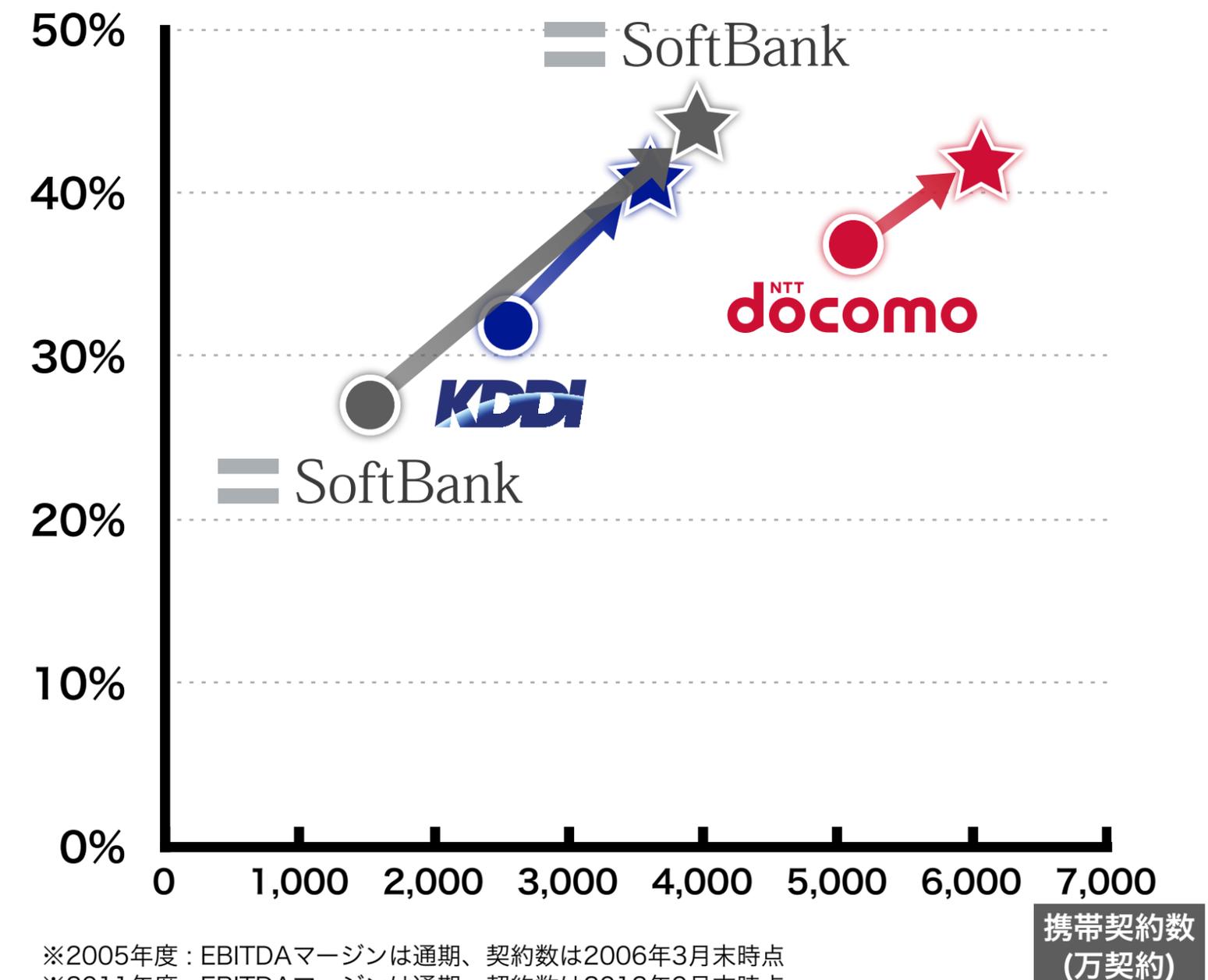


EBITDAマージン
(モバイル通信料売上比)

(2005年度→2011年度)

EBITDAマージン
(モバイル通信料売上比)

(2011年度)



※2005年度：EBITDAマージンは通期、契約数は2006年3月末時点
 ※2011年度：EBITDAマージンは通期、契約数は2012年9月末時点
 (ソフトバンクはウィルコム・イーモバイルを含む)

※EBITDAマージンは通期、契約数は2012年6月末時点
 ※日本は各社開示資料、TCA。米国は各社開示資料、Wireless Intelligence

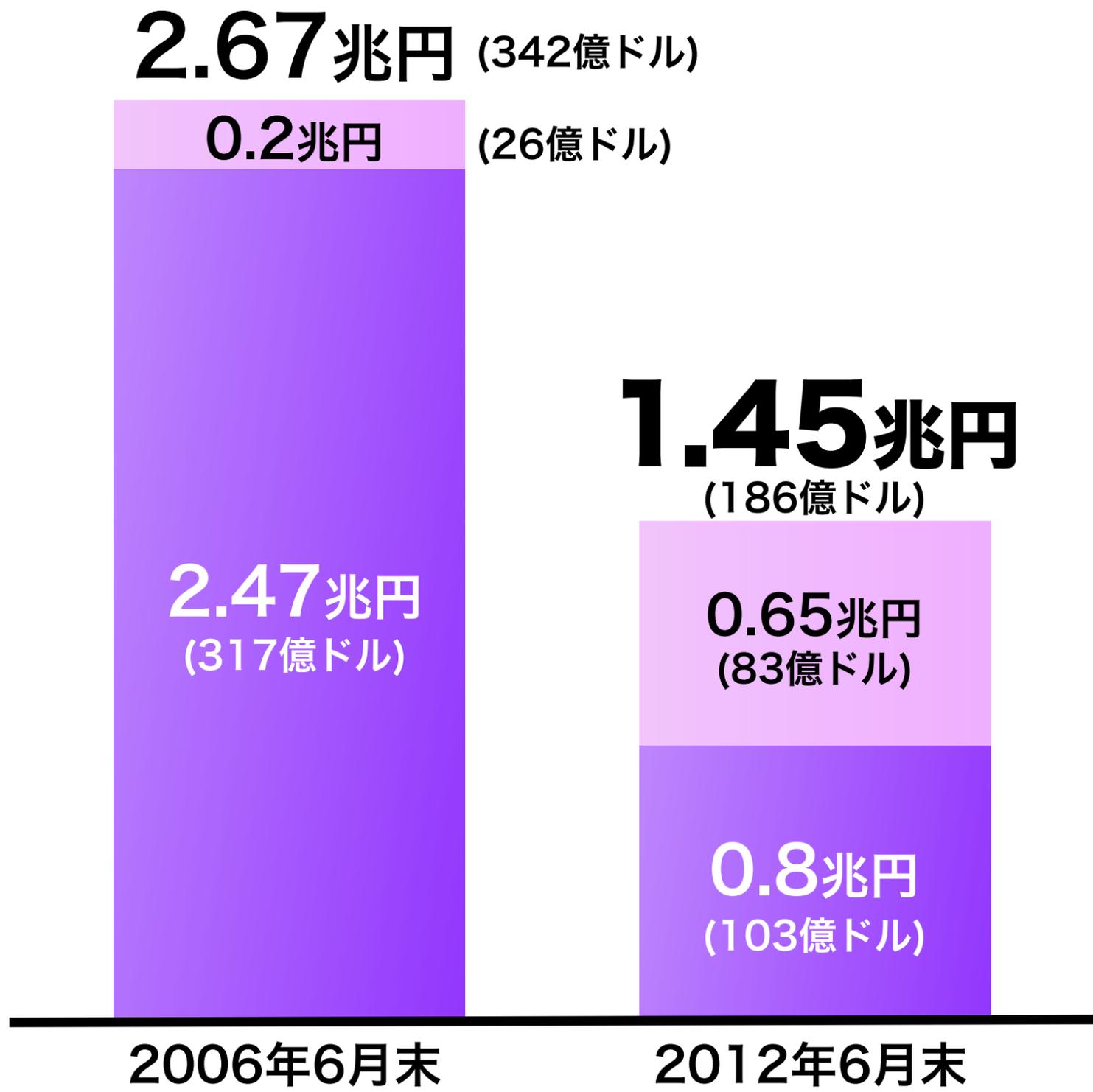
疑問2

借入金の返済は可能ですか？



自信があります

純有利子負債



大幅に削減

- リース債務
- 純有利子負債(リース債務を除く)

ボーダフォン買収資金の借入残高

1.3兆円 (167億ドル)

当初返済計画
(ミニマムケース)

実績

完済

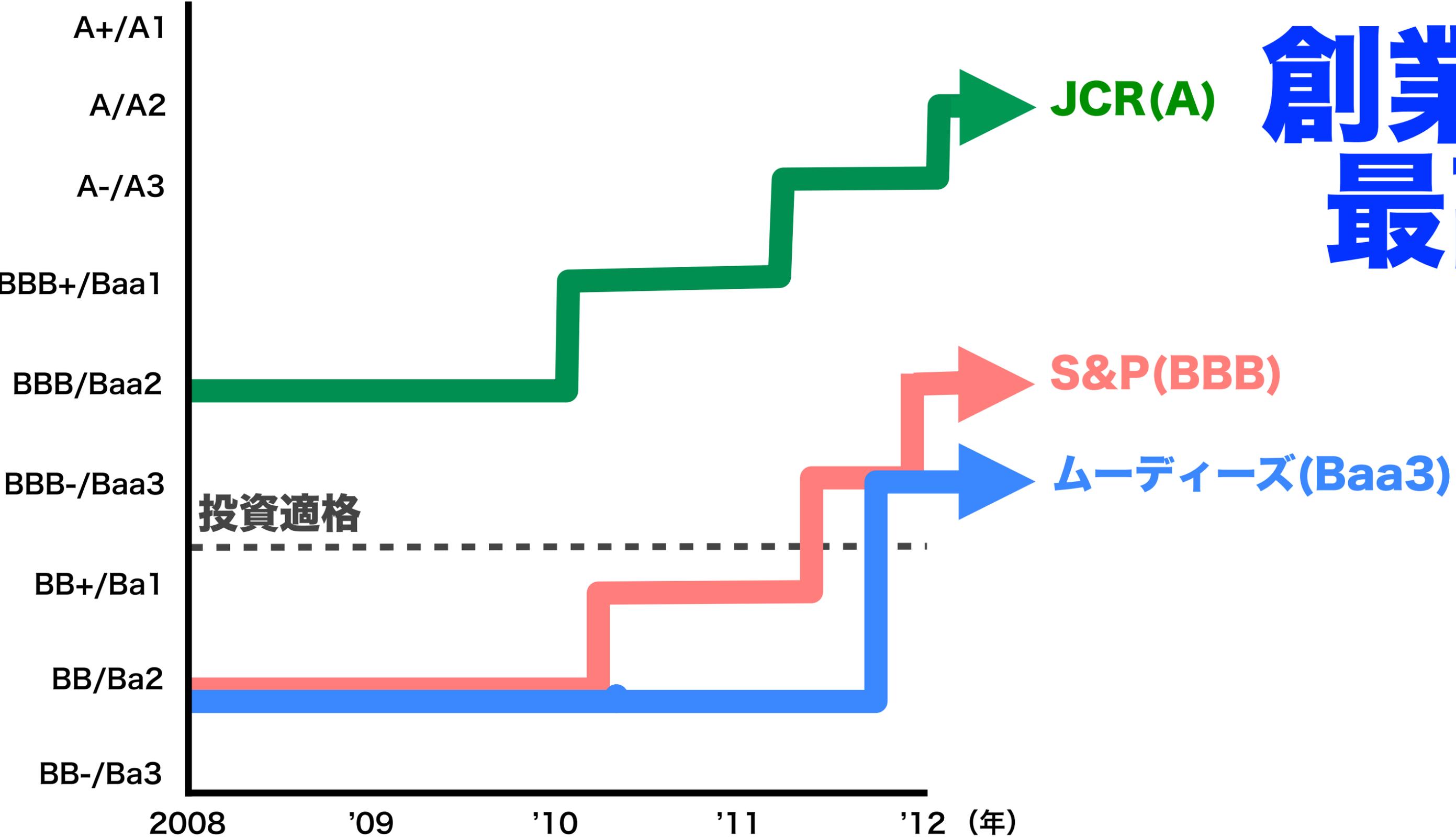
前倒しで
完済



※SBMローンの残高

ソフトバンク格付

創業来
最高



純有利子負債/EBITDA倍率

5.6倍

2.7倍

純有利子負債
2.97兆円
 (381億ドル)

連結EBITDA
0.53兆円
 (68億ドル)

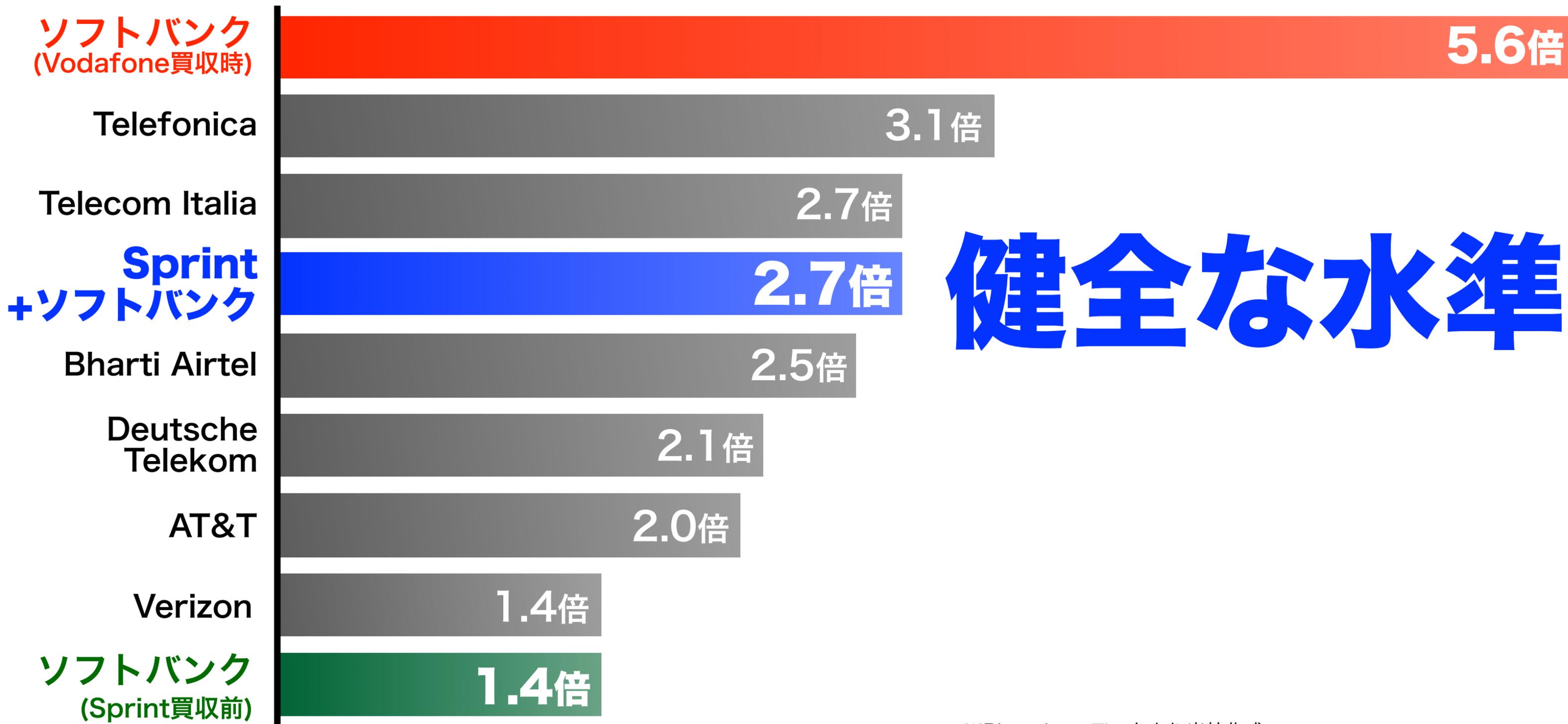
純有利子負債
3.9兆円
 (503億ドル)

連結EBITDA
1.44兆円
 (185億ドル)

ボーダフォン日本法人
買収時

Sprint +
ソフトバンク

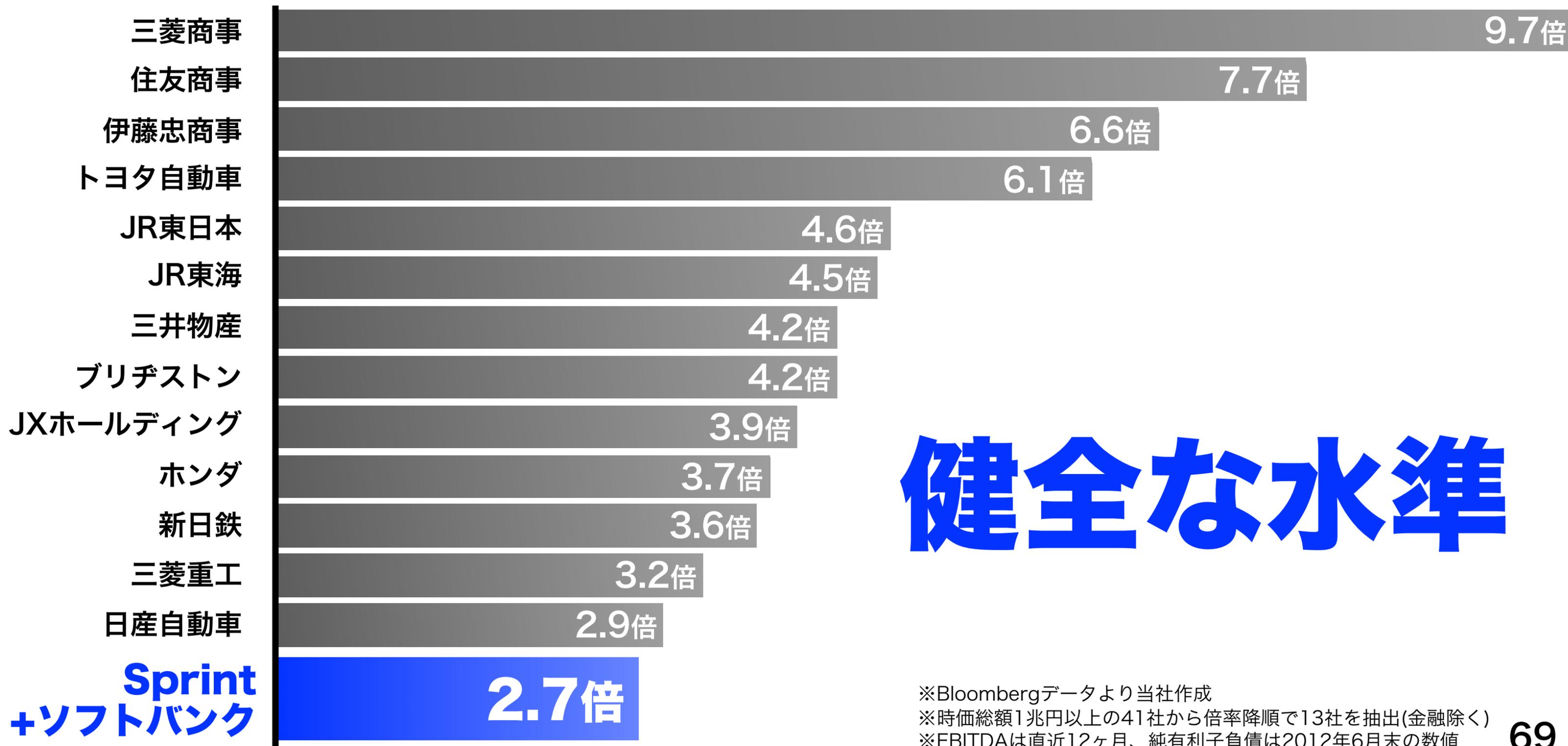
※Sprint買収後：
純有利子負債は直近数字の単純合算。EBITDAは直近12ヶ月の単純合算



健全な水準

※Bloombergデータより当社作成
※EBITDAは直近12ヶ月、純有利子負債は2012年6月末の数値

純有利子負債/EBITDA倍率 (国内大手企業)



健全な水準

※Bloombergデータより当社作成
 ※時価総額1兆円以上の41社から倍率降順で13社を抽出(金融除く)
 ※EBITDAは直近12ヶ月、純有利子負債は2012年6月末の数値

成長のダブルエンジン

＝ SoftBank + Sprint[®]



TM

SoftBank

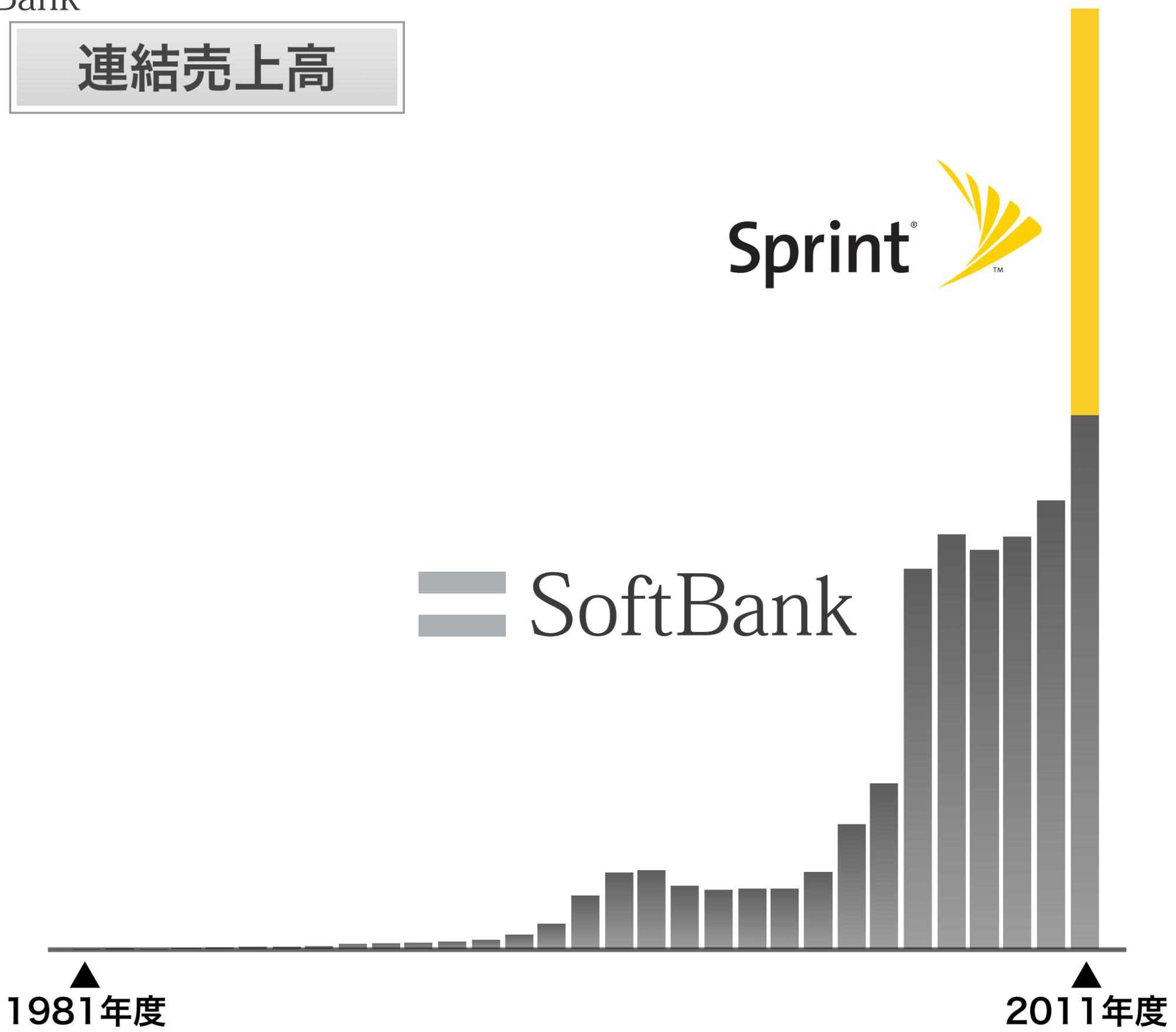
Sprint

連結売上高

Sprint

売上高
6.3兆円
(810億ドル)

SoftBank



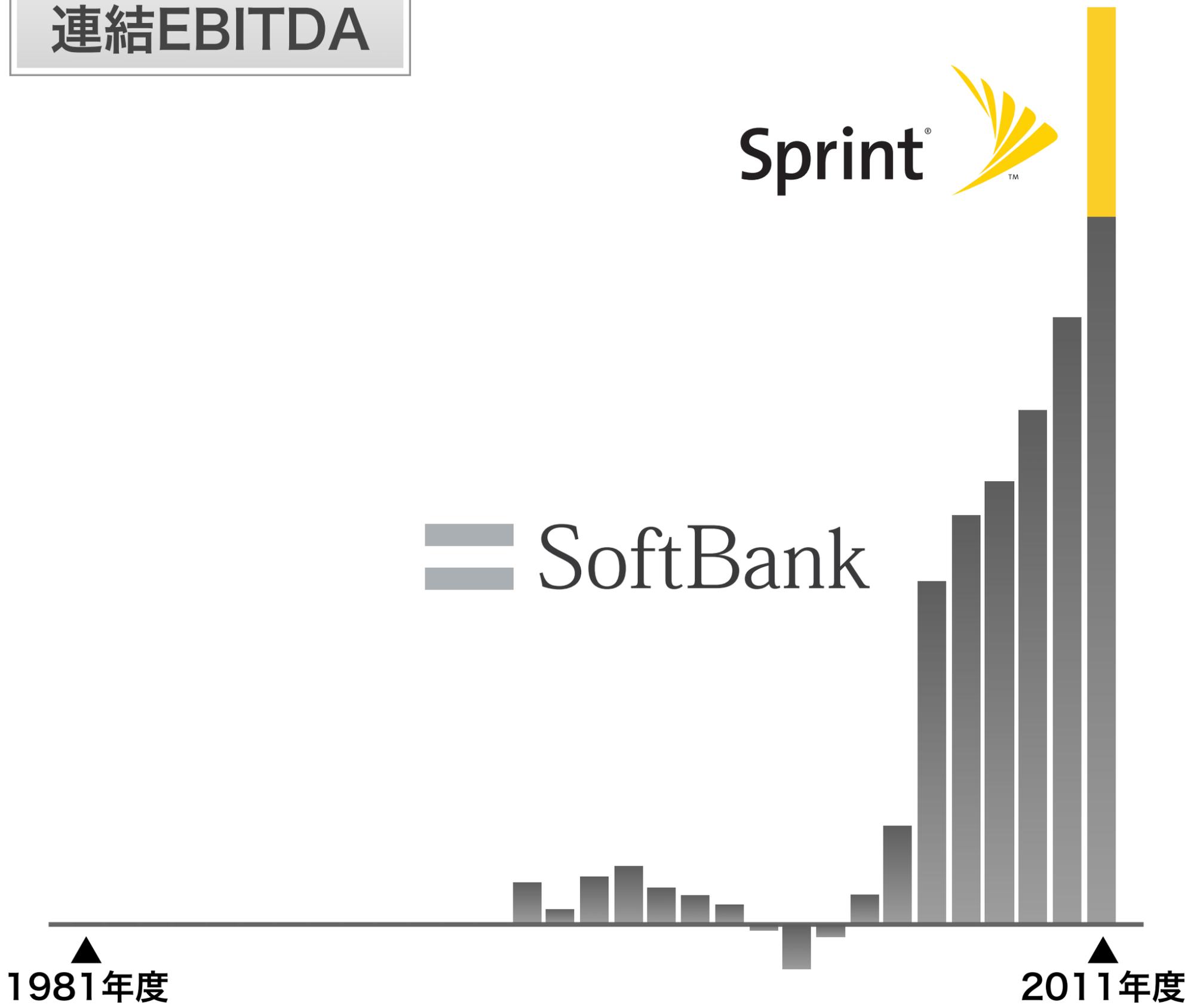
※2011年度のソフトバンクの実績は
ウィルコム、イー・アクセスの単純合算

連結EBITDA



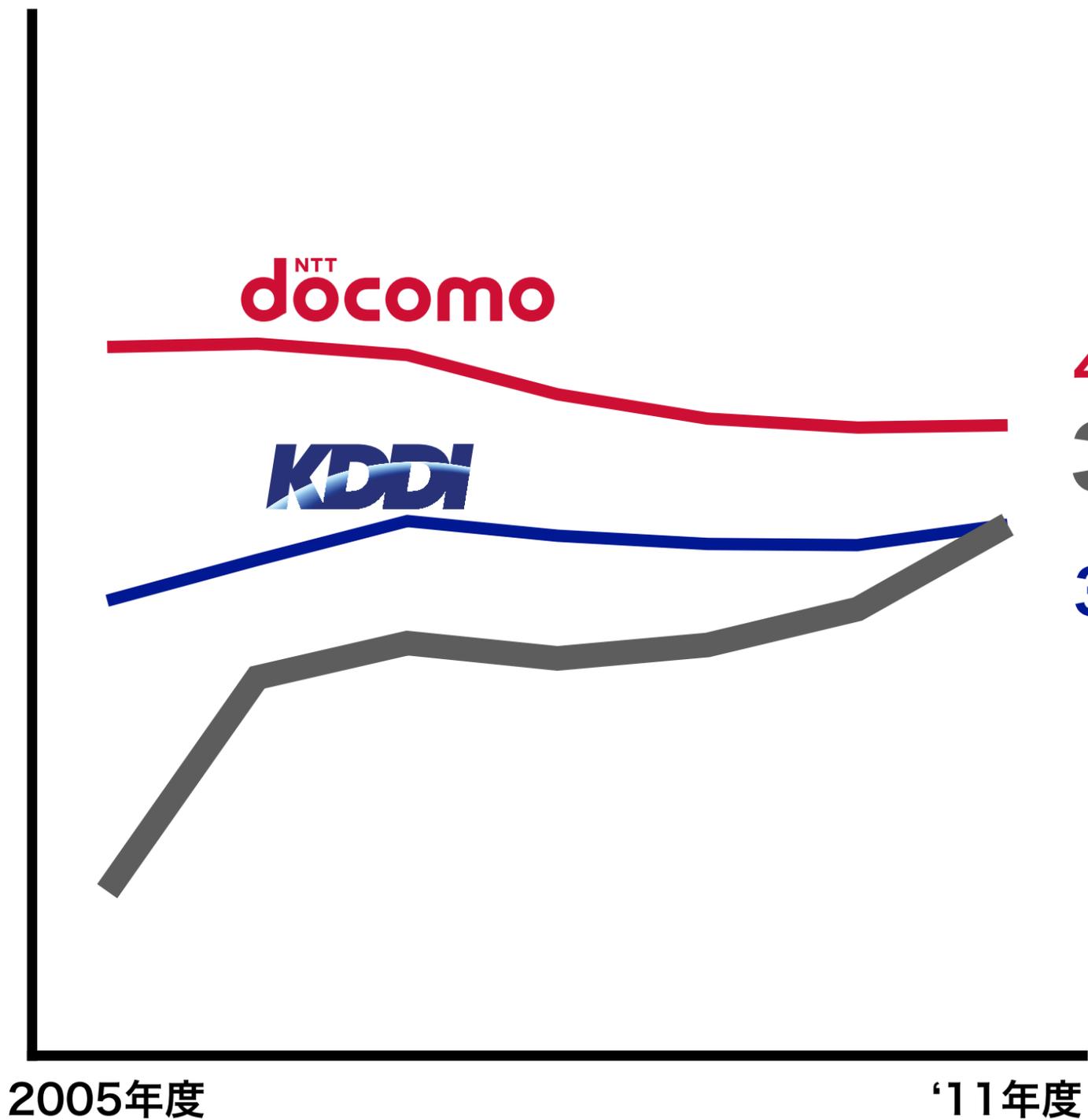
EBITDA
1.4兆円
(180億ドル)

SoftBank



※2011年度のソフトバンクの実績は
ウィルコム、イー・アクセスの単純合算

連結売上高



4.2兆円(540億ドル)

3.6兆円
(460億ドル)

SoftBank +

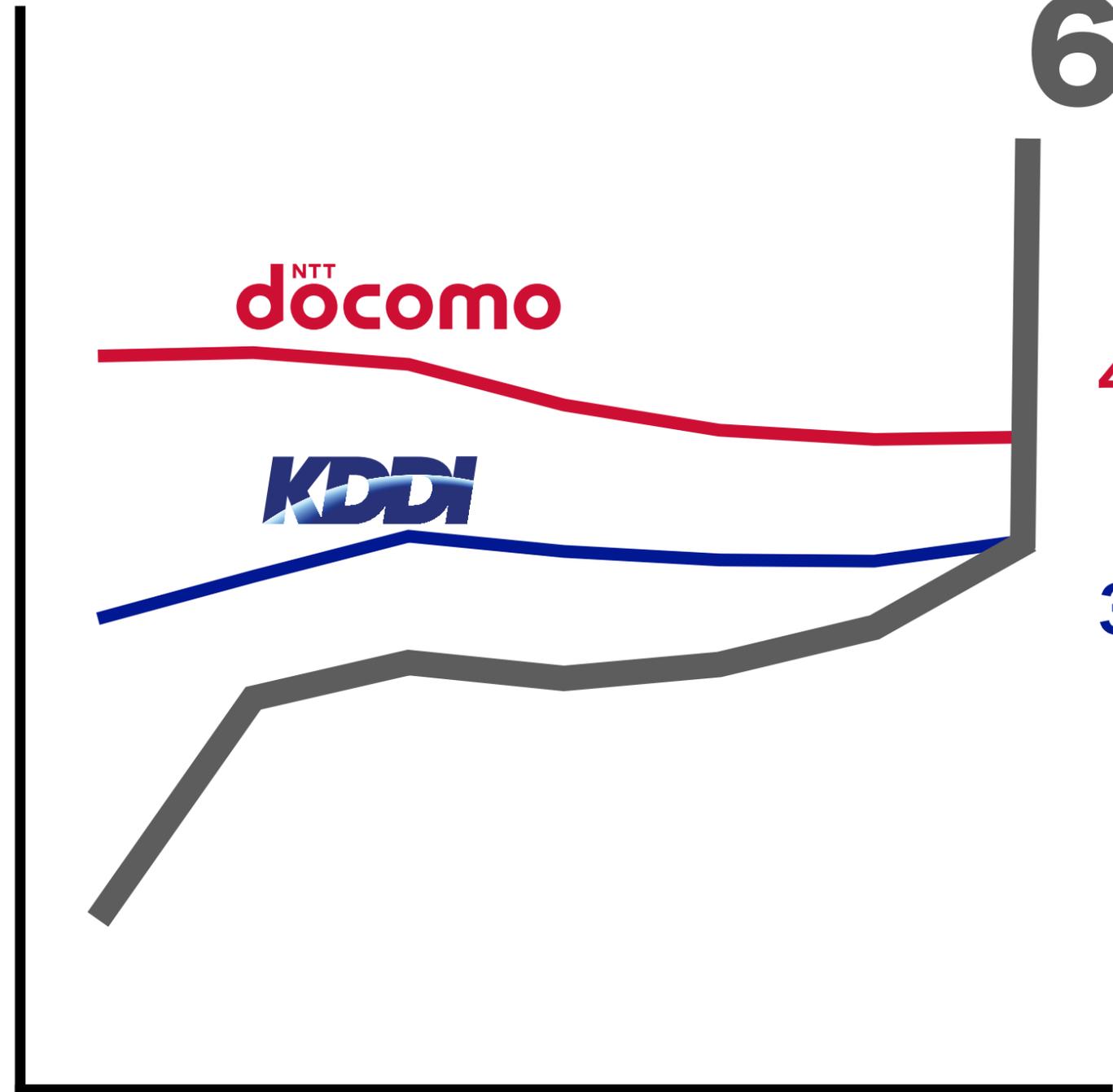


3.6兆円(460億ドル)

連結売上高

SoftBank + **EM** + **WILLCOM** + Sprint

6.3兆円(810億ドル)



4.2兆円(540億ドル)

3.6兆円(460億ドル)

世界規模の
通信事業者へ

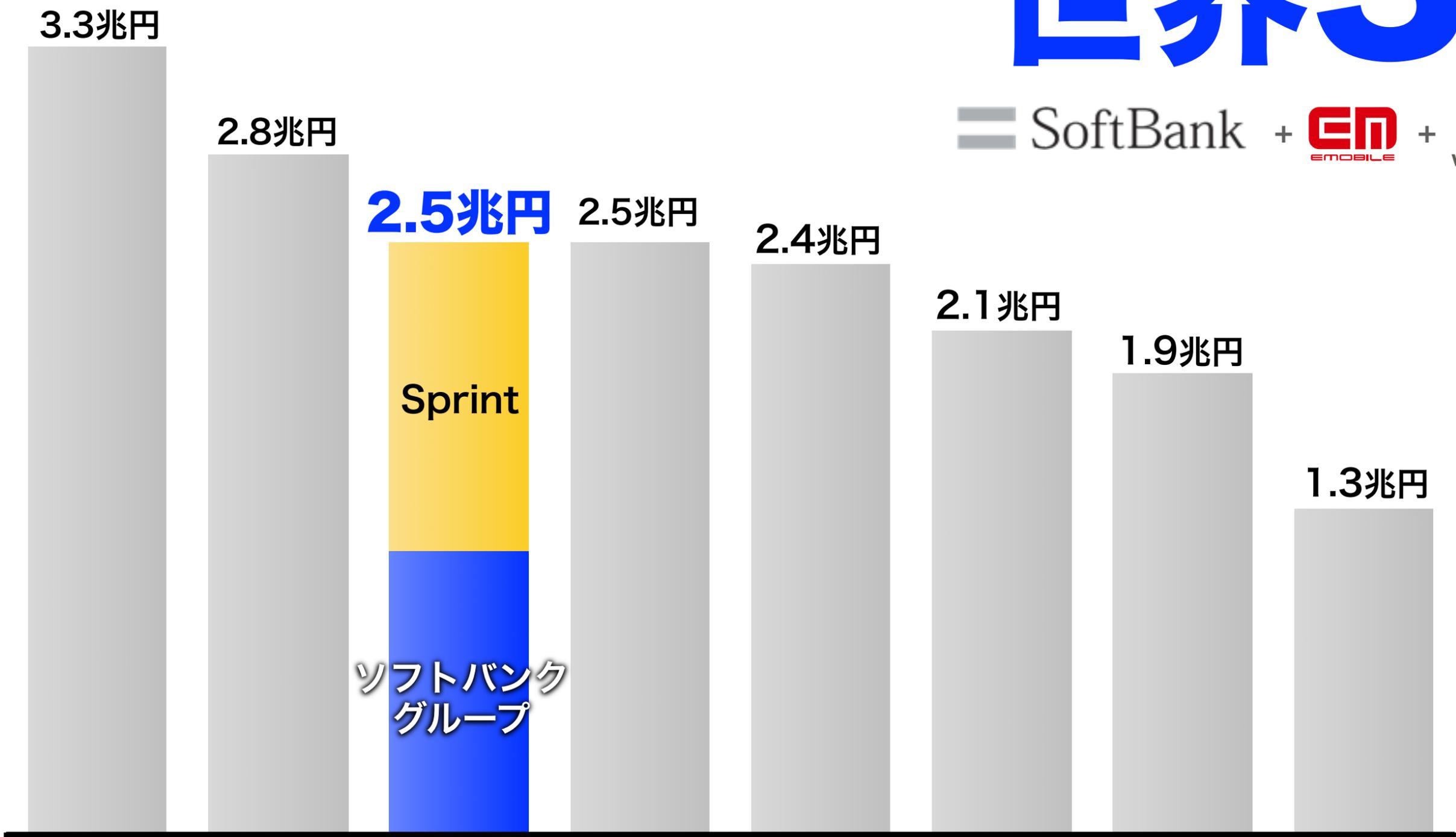
2005年度

'11年度

移動体 売上高(1-6月期)

世界3位へ

SoftBank + **EM** + **WILLCOM** + Sprint



ソフトバンク
グループ



China Mobile

Verizon

ソフトバンク + Sprint

AT&T

Vodafone

NTTドコモ

Deutsche Telekom

KDDI

※2012年1~6月期
※出所：各社開示資料を元に当社作成

累計契約数

1億

docomo

6,100万

au

3,950万

3,600万

SoftBank + EMOBILE + WILLCOM



2006年4月

2012年9月

SoftBank

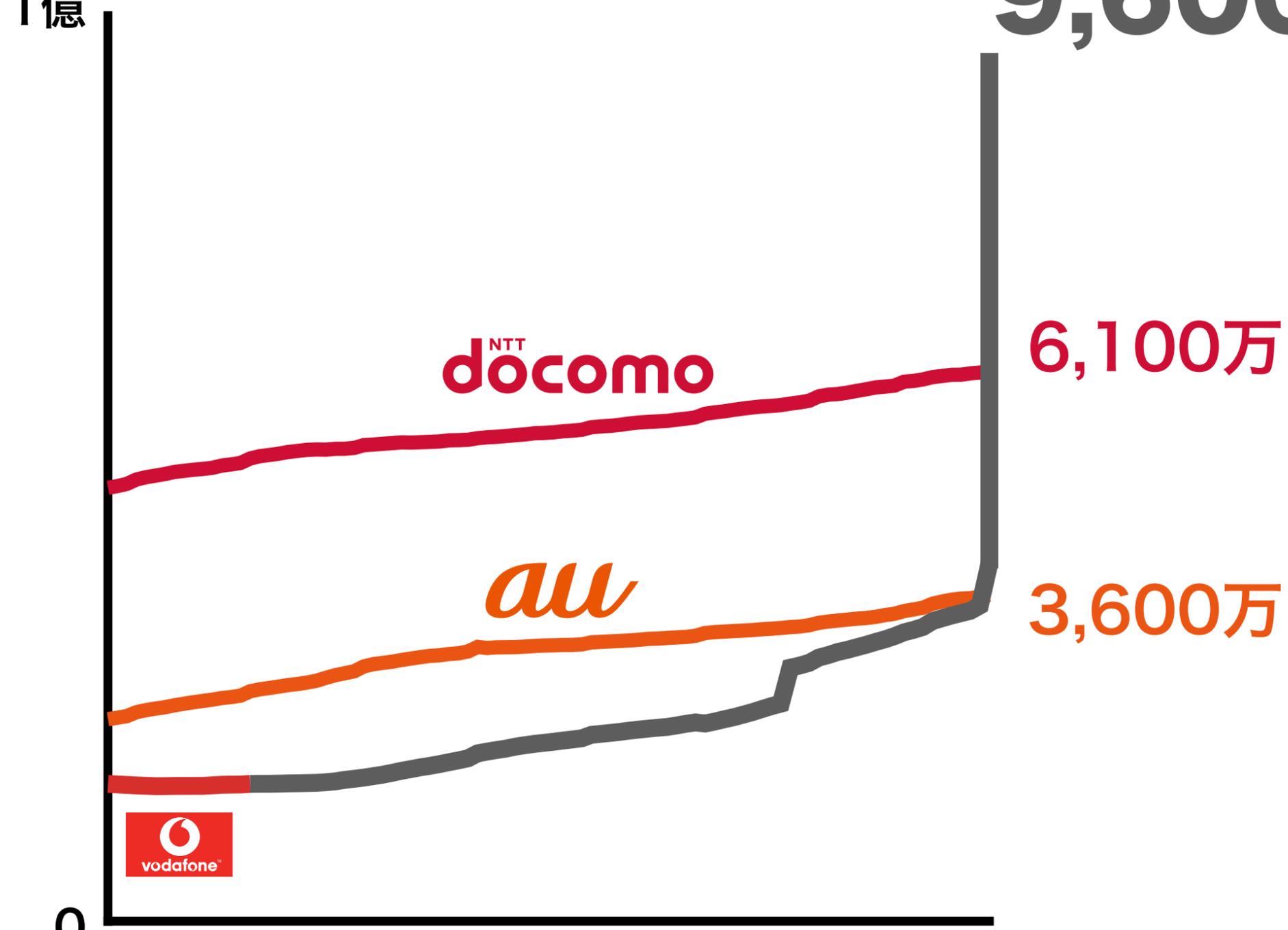
累計契約数



SoftBank + + + Sprint

9,600万

1億



日米最大級の顧客基盤へ

2006年4月

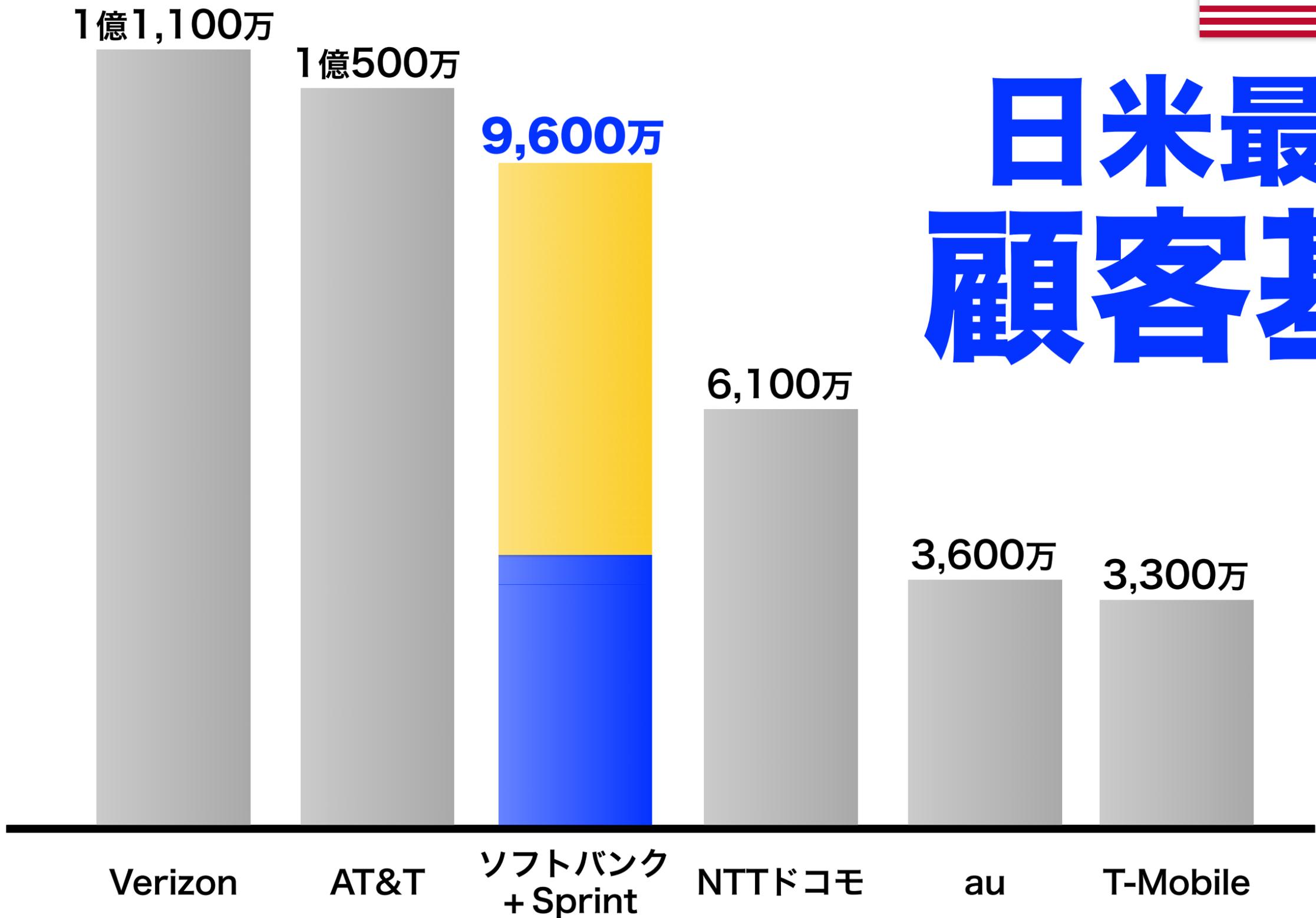
2012年9月

※Sprint社の契約数は2012年6月末

累計契約数



日米最大級の顧客基盤へ



※出所：Wireless Intelligence、TCA及び各社開示資料。米国は6月末、日本は9月末。ソフトバンクはウィルコム、イー・アクセス含む

まとめ

1. **世界第3位(売上高)の携帯事業者誕生**
2. **米国市場の大きな成長ポテンシャル**
3. **スマートフォン・LTE戦略でのシナジー**
4. **Sprintの財務基盤・競争力が強化**
5. **ソフトバンクのV字回復と負債削減の実績**
6. **両社の株主価値の向上へ**

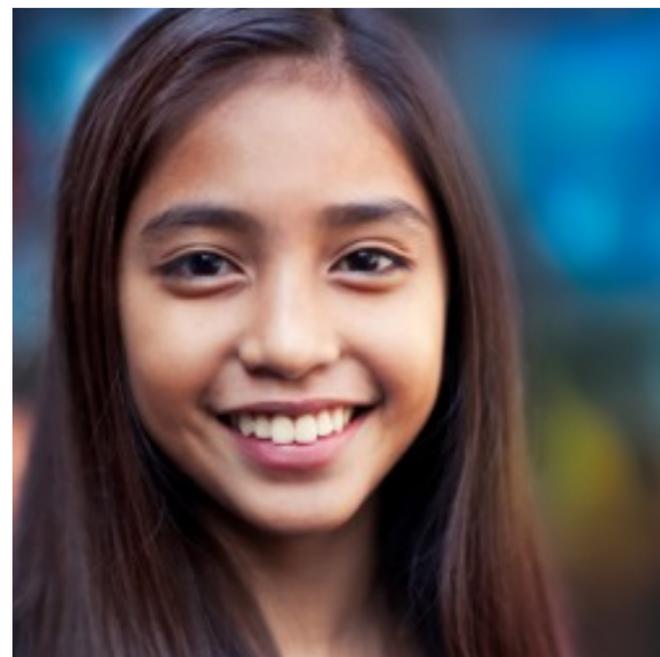


日米のお客さまへ

**最先端のスマートフォン
最先端のネットワーク
競争力の強化**



モバイルインターネットで 人々のライフスタイルを革新





SoftBank + Sprint[®]



免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。